

■日時：12月3日(日) 8:45~9:33

■会場：第5会場(2F ル・ボウ)

01 (社・S) 行動科学

座長 戸ヶ里泰典

(放送大学)

金子典代

(名古屋市立大学大学院看護学研究科)

O1-1 日本国内在住のLGBTQ+の人々におけるSOC(sense of coherence)とネガティブ経験との関連

井上洋士^{1,2)}、戸ヶ里泰典²⁾

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 放送大学教養学部

O1-2 HIV陽性者に対するうつ傾向に対するソーシャルサポートネットワークの関連性

戸ヶ里泰典¹⁾、井上洋士²⁾、高久陽介³⁾、大島岳⁴⁾、阿部桜子⁵⁾、細川陸也⁶⁾、塩野徳史⁷⁾、米倉佑貴⁸⁾、片倉直子⁹⁾、山内麻江¹⁰⁾、河合薫¹¹⁾、井上智史¹²⁾、関由起子¹³⁾、若林チヒロ¹⁴⁾、大木幸子¹⁵⁾

- 1) 放送大学
- 2) (株)アクセライト
- 3) NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) 明治大学
- 5) (株)TIS
- 6) 京都大学
- 7) 大阪青山大学
- 8) 聖路加国際大学
- 9) 神戸市看護大学
- 10) 順天堂大学
- 11) (株)MHレボリューション
- 12) 九州大学
- 13) 埼玉大学
- 14) 埼玉県立大学
- 15) 杏林大学

O1-3 逆境的小児期体験と性行動と物質使用の関連性—第2回LASH調査の結果から—

三輪岳史^{1,2)}、生島嗣¹⁾、山口正純³⁾、大槻知子¹⁾、若林チヒロ²⁾、野坂祐子⁴⁾、樽井正義¹⁾

- 1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 2) 埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学
- 3) 博慈会長寿リハビリセンター病院
- 4) 大阪大学大学院人間科学研究科

O1-4 薬物を使用するMSMにおける薬物依存重症度スコア(DAST-20)と、性行動、HIVステータス、PrEP使用経験との関連について—MSMを対象とした全国Web調査(第2回LASH調査)から

山口正純¹⁾、三輪岳史²⁾、大槻知子²⁾、若林チヒロ⁴⁾、野坂祐子³⁾、生島嗣²⁾、樽井正義²⁾

- 1) 一般財団法人博慈会長寿リハビリセンター病院内科
- 2) ぶれいす東京
- 3) 大阪大学
- 4) 埼玉県立大学

O1-5 本邦におけるMSMを対象としたMpxv流行時における知識・関心・行動の検討：全国MSM対象のオンライン横断調査

岩橋恒太¹⁾、金子典代²⁾、本間隆之³⁾

- 1) 特定非営利活動法人akta
- 2) 名古屋市立大学看護学部
- 3) 山梨県立大学看護学部

O1-6 HIV感染者に係る看護職・介護職の意識はどう変わるのか～受け入れを躊躇する職員へのサポートメッセージ～

柴田幸治¹⁾、古谷佳苗²⁾、葛田衣重³⁾、今野江利子²⁾、矢幅美鈴³⁾、谷口俊文³⁾、猪狩英俊³⁾

- 1) 千葉感染制御研究所
- 2) 千葉大学医学部附属病院看護部
- 3) 千葉大学医学部附属病院感染制御部

■日時：12月3日(日) 8:45~9:33

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

O2 (臨・C) 看護

座長 東 政美

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター看護部)

宮城京子

(琉球大学病院看護部外来)

O2-1 施設入所したHIV感染症患者の特徴と支援内容の検討に関する研究～介護保険利用対象症例のケアを振り返って～

森下恵理子^{1,2)}、池田和子¹⁾、杉野祐子¹⁾、谷口紅¹⁾、鈴木ひとみ¹⁾、栗田あさみ¹⁾、大杉福子¹⁾、野崎宏枝¹⁾、大金美和¹⁾、菊池嘉¹⁾、岡慎一¹⁾、湯永博之¹⁾

- 1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
- 2) 公益社団法人エイズ予防財団

O2-2 HIV 関連ニューモシスチス肺炎患者への入院看護に関する後ろ向き観察研究～PCP 看護パス作成に向けて PCP 入院症例の動向を振り返って～

影森彩夏¹⁾、河原崎彩佳¹⁾、鳴海佑乃¹⁾、内藤紫乃¹⁾、陳 麻理¹⁾、大木悦子¹⁾、堀川真由弥¹⁾、池田和子²⁾、小林瑞季³⁾、青木孝弘²⁾、渡辺恒二²⁾、照屋勝治²⁾、菊池 嘉²⁾、湯永博之²⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院看護部
- 2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 3) 国立国際医療研究センター病院薬剤部

O2-3 HIV 関連ニューモシスチス肺炎患者への入院看護に関する後ろ向き観察研究 (第2報)～通院・治療中断者の背景を振り返って～

鳴海佑乃¹⁾、影森彩夏¹⁾、河原崎彩佳¹⁾、内藤紫乃¹⁾、陳 麻理¹⁾、大木悦子¹⁾、堀川真由弥¹⁾、池田和子²⁾、小林瑞季³⁾、青木孝弘²⁾、渡辺恒二²⁾、照屋勝治²⁾、菊池 嘉²⁾、湯永博之²⁾

- 1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター看護部
- 2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 3) 国立国際医療研究センター病院薬剤部

O2-4 急性期一般病棟でエイズ発症患者を担当した経験を振り返る—HIV 患者教育経験者として—

宮林優子¹⁾、松本雅美¹⁾、宮田順之¹⁾、吉村幸浩¹⁾、立川夏夫²⁾

- 1) 横浜市立市民病院
- 2) 名古屋市立総合病院

O2-5 沖縄県エイズ治療中核拠点病院としての当院の役割

宮城京子、前田サオリ、石郷岡美穂、大田久美子、上原 仁、諸見牧子、上 薫、玉城美波、饒平名聖、新里尚美、金城隆展、眞榮城智子、仲村秀太

琉球大学病院

O2-6 HIV 診療体制の地域連携強化に向けた病院の課題と可能性：感染対策向上加算算定病院に対する全国アンケート調査

谷口俊文、矢幅美鈴、葛田衣重、猪狩英俊

千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科

■日時：12月3日(日) 8:45～9:33

■会場：第7会場 (1F ラシゴーニュ)

O3 (臨・C) 症例報告 (悪性腫瘍)

座長 遠藤知之

(北海道大学病院血液内科)

小川吉彦

(堺市立総合医療センター感染症内科)

O3-1 非加熱血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病等患者に合併する腫瘍に関する研究

古賀道子¹⁾、福田あかり¹⁾、石坂 彩¹⁾、田中貴大¹⁾、保坂 隆¹⁾、伊藤俊広²⁾、江口 晋²⁾、遠藤知之⁴⁾、柿沼章子⁵⁾、木内 英⁶⁾、後藤智巳⁵⁾、高橋俊二⁷⁾、武田飛呂城⁵⁾、照屋勝治⁸⁾、花井十五⁹⁾、藤井輝久¹⁰⁾、藤谷順子¹¹⁾、三田英治¹²⁾、南 留美¹³⁾、茂呂 寛¹⁴⁾、横暮能行¹⁵⁾、渡邊 大¹⁶⁾、渡邊珠代¹⁷⁾、四柳 宏¹⁾

- 1) 東京大学医学科学研究所
- 2) 仙台医療センターHIV/AIDS包括医療センター
- 3) 長崎大学移植・消化器外科
- 4) 北海道大学病院血液内科・HIV診療支援センター
- 5) はばたき福祉事業団
- 6) 東京医科大学臨床検査医学分野
- 7) がん研究会・総合腫瘍科
- 8) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 9) ネットワーク医療と人権
- 10) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 11) 国立国際医療研究センターリハビリテーション科
- 12) 大阪医療センター消化器内科
- 13) 九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター
- 14) 新潟大学歯学総合病院感染管理課
- 15) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- 16) 大阪医療センターHIV/AIDS先端医療開発センター
- 17) 石川県立中央病院免疫感染症科

O3-2 抗 HIV 療法と化学療法に抵抗性で局所放射線療法が QOL を劇的に改善させた皮膚限局性 HIV 関連カポジ肉腫の 1 例

吉富祐太郎¹⁾、川島 亮¹⁾、中山秀次²⁾、青木孝弘¹⁾、照屋勝治¹⁾、湯永博之¹⁾、渡辺恒二¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立国際医療研究センター病院放射線治療科

O3-3 プリナツモマブが奏効した HIV 感染症合併難治性急性リンパ性白血病

小谷岳春¹⁾、田辺 命¹⁾、渡邊珠代²⁾

- 1) 石川県立中央病院血液内科
- 2) 石川県立中央病院免疫感染症科

O3-4 当院における HIV-Burkitt lymphoma/
High-grade B-cell lymphoma 6 症例
の診療経験

森 一斗¹⁾、齋藤 聡²⁾、岩本真一¹⁾、
関 将行³⁾、阿部佳子⁴⁾、飯原久仁子⁴⁾、
米野由希子¹⁾、柴崎正幸⁵⁾、山名哲郎⁶⁾、
柳 富子¹⁾

- 1) JCHO東京山手メディカルセンター血液内科
- 2) JCHO東京山手メディカルセンター消化器内科
- 3) JCHO東京山手メディカルセンター薬剤科
- 4) JCHO東京山手メディカルセンター病理診断科
- 5) JCHO東京山手メディカルセンター外科
- 6) JCHO東京山手メディカルセンター大腸肛門外科

O3-5 HIV-high-grade B-cell lymphoma,
NOS に合併した左優位の三叉神経第 1、
3 枝領域の neurolymphomatosis の一
例

岩本真一¹⁾、米野由希子¹⁾、森 一斗¹⁾、
木下 航¹⁾、関 将行²⁾、柴崎仁志³⁾、
鳥居秀嗣⁴⁾、山田滋雄⁵⁾、児玉 真⁶⁾、
阿部佳子³⁾、柳 富子¹⁾

- 1) JCHO東京山手メディカルセンター血液内科
- 2) JCHO東京山手メディカルセンター薬剤科
- 3) JCHO東京山手メディカルセンター耳鼻咽喉科
- 4) JCHO東京山手メディカルセンター皮膚科
- 5) JCHO東京山手メディカルセンター脳神経内科
- 6) JCHO東京山手メディカルセンター病理診断科

O3-6 当院における非 AIDS 指標悪性腫瘍 21
例の後方視的検討

中嶋恵理子¹⁾、高濱宗一郎¹⁾、山地由恵²⁾、
犬丸真司³⁾、長與由紀子³⁾、城崎真弓²⁾、
南 留美¹⁾、山本政弘³⁾

- 1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
- 2) 国立病院機構九州医療センター看護部
- 3) 西福岡病院内科

■日時：12月3日(日) 9:40~10:28

■会場：第5会場(2F ル・ボワ)

O4 (社・S) キーボリューション

座長 東 優子

(大阪公立大学大学院現代システム科学研究科人間科学分野)

塩野徳史

(大阪青山大学健康科学部看護学科)

O4-1 若年層 MSM をコミュニティセンターに
繋げた事例

赤嶺友紀^{1,2)}、玉城祐貴^{1,2)}、塩野徳史^{3,4)}

- 1) nankr沖繩
- 2) コミュニティセンターmabui
- 3) 大阪青山大学
- 4) mash大阪

O4-2 郵送検査利用者アンケートからみた利用
者属性、自己採血の困難感について一対
面配布と WEB 配布の受け取り 2 群間の
比較一

金子典代¹⁾、国見亮佑²⁾、太田 貴³⁾、
星野慎二⁴⁾、岩橋恒太⁵⁾、石田敏彦⁶⁾、
塩野徳史⁷⁾、町登志雄⁸⁾、新山 賢⁹⁾、
船石翔馬¹⁰⁾、玉城祐貴¹¹⁾

- 1) 名古屋市立大学大学院看護学研究所
- 2) にしいるほっかいどう
- 3) やろっこ
- 4) 特定非営利活動法人SHIP
- 5) 特定非営利活動法人akta
- 6) エンジェルライフナゴヤ
- 7) 大阪青山大学
- 8) エイズ予防財団/MASH大阪
- 9) 一般社団法人カラフルドットライフ
- 10) 福岡コミュニティセンターHACO
- 11) nankr

O4-3 コロナ禍前後のセックスワーカーの就労
状況と HIV 予防と検査受検に関する行動

宮階真紀^{1,2)}、今村顕史³⁾、塩野徳史⁴⁾、
要友紀子¹⁾、宮田りりい¹⁾

- 1) SWASH
- 2) MASH大阪
- 3) 東京都立駒込病院
- 4) 大阪青山大学健康科学部看護学科

O4-4 沖縄県における HIV 検査へのアクセスと
その関連要因に関する調査：在沖外国人
と日本人の比較

Thi Hue Tran¹⁾、北島 勉²⁾、宮首弘子³⁾、
沢田真志⁴⁾、中村秀太⁵⁾、新里尚美⁶⁾

- 1) 神戸女子大学文学部国際教養学科
- 2) 杏林大学総合政策学部
- 3) 杏林大学外国語学部
- 4) 神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所
- 5) 琉球大学医学部
- 6) 沖縄県感染症診療ネットワーク

O4-5 東京都内における在留外国人を対象とし
た HIV 検査会の実施

北島 勉¹⁾、沢田真志²⁾、宮首弘子³⁾、
Hue Tran Thi⁴⁾、Chunyan Li⁵⁾、
Supriya Shakya⁶⁾、生島 嗣⁷⁾、佐藤昭裕⁸⁾

- 1) 杏林大学総合政策学部
- 2) 神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所
- 3) 杏林大学外国語学部
- 4) 神戸女子大学文学部
- 5) 東京大学国際高等研究所東京ラレッジ
- 6) エイズ予防財団
- 7) ぶれいし東京
- 8) KARADA内科クリニック

O4-6 常設夜間休日検査相談事業（スマートらいふネット）における外国人受検者の動向について

毛受矩子、熊本光代、大角順子、若狭明美、徳永羊子、折井由美子、宮本伸枝、鎌田美恵子、上林孝子、沢田恵美子、井手津賀子、高田由紀子

特定非営利活動法人スマートらいふネット

■日時：12月3日（日）9：40～10：28

■会場：第6会場（2F サロンドシャルム）

O5（臨・C）症例報告（COVID-19ほか）

座長 笠松 悠

（大阪市立十三市民病院/大阪市立総合医療センター感染症内科）

田中 勝

（がん・感染症センター東京都立駒込病院感染症科）

O5-1 HIV スクリーニング検査陽性で近医より紹介受診となった当日に COVID-19 で即入院、膀胱癌も判明し ART を導入した一例

石橋令臣、平井由児

東京医科大学八王子医療センター感染症科

O5-2 ワクチン未接種状態で罹患した COVID-19 が重症化し、地域連携により社会復帰に至った外国人 HIV 感染症例

松本 彬¹⁾、柳澤邦雄²⁾、小川孔幸¹⁾、中村聡洋³⁾、石崎芳美³⁾、樋口裕哉⁴⁾、城田陽子⁵⁾、桑原陽子⁶⁾、関上里子⁶⁾、内海英貴⁷⁾、半田 寛¹⁾

- 1) 群馬大学医学部附属病院血液内科
- 2) 群馬大学医学部附属病院感染制御部
- 3) 群馬大学医学部附属病院看護部
- 4) 群馬大学医学部附属病院薬剤部
- 5) 群馬大学医学部附属病院医事課/エイズ予防財団
- 6) 群馬大学医学部附属病院患者支援センター
- 7) 医療法人社団日高会白根クリニック

O5-3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を契機に診断され、COVID-19 が遷延した HIV 感染症

須釜佑介¹⁾、堀口拓人¹⁾、稗田広美²⁾、川村志野²⁾、平賀多絵子²⁾、宮越郁子²⁾、又村了輔²⁾、國本雄介³⁾、種村理絵子⁴⁾、大橋伸英⁴⁾、小船雅義¹⁾

- 1) 札幌医科大学附属病院血液内科
- 2) 札幌医科大学附属病院看護部
- 3) 札幌医科大学附属病院薬剤部
- 4) 札幌医科大学附属病院口腔外科

O5-4 当院における急性 HIV 感染症の発生状況と臨床的特徴についての検討

鶴見 寿^{1,2)}、石原正志³⁾、杉山仁美⁴⁾、手塚宣行⁵⁾、生駒良和¹⁾、山口公大⁶⁾

- 1) 岐阜大学医学部附属病院血液感染症内科
- 2) 松波総合病院血液・腫瘍内科
- 3) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
- 4) 岐阜大学医学部附属病院看護部
- 5) 岐阜大学大学院医学系研究科感染症寄附講座
- 6) 岐阜市民病院血液内科

O5-5 COVID-19 を合併した HIV 感染者の臨床的特徴についての検討

彼谷裕康

富山県立中央病院感染症内科

O5-6 HIV 脳症を契機に初めて診断された HIV 感染症の入院経過中に、SARS-CoV-2 のウイルス排出が鼻咽喉から長期間見られた 1 例

織田錬太郎^{1,2)}、立石哲則¹⁾

- 1) 東京都立多摩総合医療センター感染症内科
- 2) 東京ベイ・浦安市川医療センター感染症内科

■日時：12月3日（日）9：40～10：28

■会場：第7会場（1F ラシゴージュ）

O6（臨・C）肝炎

座長 松尾裕夫

（大阪大学医学部附属病院感染制御部/感染症内科）

菊池 嘉

（国立国際医療研究センター）

O6-1 当院における HIV/HBV 共感染例に関する考察

吉澤定子¹⁾、柏木克仁²⁾、佐藤高広²⁾、森 岳雄²⁾、大谷真理子^{3,4)}、塚田真弓⁴⁾、富田 学⁴⁾、前田 正²⁾、宮崎泰斗^{2,4)}

- 1) 東邦大学医学部臨床検査医学講座/微生物・感染症学講座
- 2) 東邦大学医療センター大森病院総合診療急病センター感染症科
- 3) 東邦大学医療センター大森病院薬剤部
- 4) 東邦大学医療センター大森病院感染管理部

O6-2 横浜市立市民病院で抗 HIV 薬を継続している患者における HBV バイオマーカーの推移

宮田順之¹⁾、佐藤公亮²⁾、宗 佑奈¹⁾、吉村幸浩¹⁾

- 1) 横浜市立市民病院感染症内科
- 2) 横浜市立市民病院救急診療科

- O6-3** 3TC/DTG 使用と B 型肝炎ウイルスのフォロー
 横山翔太¹⁾、鈴木陶磨¹⁾、山川知宏¹⁾、金澤沙衣²⁾、佐々木育子³⁾、田村亜沙香³⁾、濱名かおる³⁾、田中亜里紗³⁾、小川健一郎⁴⁾、築田昌明⁴⁾、若狭健太郎¹⁾
 1) 帯広厚生病院血液内科
 2) 帯広厚生病院薬剤部
 3) 帯広厚生病院看護部
 4) 帯広厚生病院医療社会事業科
- O6-4** HIV/HCV 重複感染薬害患者における DAA 治療後の HCC 発症
 上村 悠、小泉吉輝、中本真人、安藤尚克、水島大輔、青木孝之、渡辺恒二、田沼順子、照屋勝治、湯永博之
 国立国際医療研究センター
- O6-5** 血友病合併 HIV/HCV 重複感染による肝硬変患者に対する CBP/ β -catenin 阻害剤 OP-724 の安全性、忍容性を検証する医師主導治験 (第 1 相試験)
 木村公則¹⁾、田沼順子²⁾、四柳 宏³⁾、湯永博之²⁾
 1) 東京都立駒込病院肝臓内科
 2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
 3) 東京大学医学研究所附属病院先端医療研究センター
- O6-6** 当院通院中 HIV 患者における B 型肝炎ワクチン接種後の抗体価の推移
 渋谷晃子、森 信好
 聖路加国際病院感染症科
- O7-2** 依存症専門外来の初診 3 年後予後調査における HIV 陽性者についての報告
 西村康平、板橋登子、小林桜児、青山久美、黒澤文貴
 神奈川県立精神医療センター
- O7-3** Sexual Health 外来における PrEP の有無による性感染症の超ハイリスク層の実態
 水島大輔、高野 操、新谷由衣、安藤尚克、青木孝弘、渡辺恒二、上村 悠、湯永博之
 国立国際医療研究センター病院
- O7-4** PrEP 薬服用者の生活から見てきた課題—手記集『わたしと PrEP』から—
 翁長祐太¹⁾、首藤真由美²⁾
 1) カラフル@はーと
 2) 早稲田大学大学院人間科学研究科
- O7-5** 過去に実施した「PrEP に関する意識調査」の回答と実際の PrEP 開始に関するフォローアップ調査
 高野 操、水島大輔、田中和子、首藤真由美、新谷由衣、山中宏江、青木孝弘、渡辺恒二、安藤尚克、照屋勝治、湯永博之、岡 慎一
 国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- O7-6** MSM における *Mycoplasma genitalium* 感染症の有病率と耐性率
 安藤尚克¹⁾、水島大輔¹⁾、高野 操¹⁾、青木孝弘¹⁾、渡辺恒二¹⁾、水戸部森歌²⁾、小林甲斐²⁾、三宅啓文²⁾、久保田寛顕²⁾、鈴木 淳²⁾、貞升健志²⁾、岡 慎一¹⁾、湯永博之¹⁾
 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター
 2) 東京都健康安全研究センター微生物部
- 日時：12月3日(日) 10:40~11:28
 ■会場：第5会場(2F ル・ボウ)
- O7 (臨・C) PrEP・セクシャルヘルス**
- 座長 塩尻大輔
 (パーソナルヘルスクリニック)
 村松 崇
 (東京医科大学病院臨床検査医学科)
-
- O7-1** HIV 陽性者を含む LGBTQ+当事者のための新しいオンライン依存症自助グループ“アディクション・ぼーと”の意義と価値
 福正大輔、安孫子陽一、保坂嘉成、中野栄二、佐藤文彦、小山輝道、生島 嗣
 ぶれいす東京

■日時：12月3日(日) 13:45~14:33

■会場：第5会場(2F ル・ボウ)

O8 (臨・C) 抗HIV療法1

座長 安達英輔

(東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科)

中内崇夫

(国立病院機構京都医療センター薬剤部)

O8-1 SOLAR 試験 12か月の日本人参加者の結果：持効性カボテグラビル+リルビリン(CAB+RPV LA)のBIC/FTC/TFV経口療法に対する無作為化切り替え試験

安達英輔¹⁾、横幕能行²⁾、渡邊 大³⁾、
湯永博之⁴⁾、岡 慎一⁴⁾、白阪琢磨³⁾、
若田部るみ⁵⁾、Nadine Chamay⁶⁾、
Kenneth Sutton⁷⁾、
Denise Sutherland-Phillips⁷⁾、
Rimgaile Urbaityte⁸⁾、
Ronald D'Amico⁷⁾、Jean van Wyk⁶⁾

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター
- 3) 国立病院機構大阪医療センター
- 4) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 5) ヴィーヘルスケア株式会社
- 6) ViV Healthcare UK
- 7) ViV Healthcare USA
- 8) GSK UK

O8-2 持続性カボテグラビル+リルビリンを導入した高齢で内服困難な HIV 感染症の1例

堀場昌英

国立病院機構東埼玉病院

O8-3 カボテグラビル+リルビリン投与後の炎症性バイオマーカー及び脂質プロファイルの変化

安達英輔、大谷天人、齋藤 真、
古賀道子、四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

O8-4 カボテグラビル+リルビリン投与時の薬剤による注射部位反応の違い

安達英輔、大谷天人、齋藤 真、
古賀道子、四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

O8-5 カボテグラビル・リルビリンの持効性注射製剤の血中濃度に関する検討 第1報

矢倉裕輝^{1,2)}、榎田宏幸²⁾、廣田和之³⁾、
松村拓朗³⁾、上地隆史³⁾、西田恭治³⁾、
上平朝子³⁾、吉野宗宏³⁾、白阪琢磨³⁾、
渡邊 大³⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部
- 2) 国立病院機構大阪医療センター薬剤部
- 3) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

O8-6 薬剤師主導によるCAB、RPV注導入患者の投与スケジュール管理体制について

田中裕子¹⁾、早川史織¹⁾、工藤寛士¹⁾、
市田泰彦²⁾、井上真紀²⁾、金田 暁³⁾、
筒井秀知¹⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構千葉医療センター薬剤部
- 2) 独立行政法人国立病院機構千葉医療センター看護部
- 3) 独立行政法人国立病院機構千葉医療センター内科

■日時：12月3日(日) 13:45~14:33

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

O9 (基・B) COVID-19 (基礎)

座長 中山英美

(大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野)

齊藤 暁

(富崎大学農学部獣医学科)

O9-1 TMPRSS2はウイルス産生細胞におけるCoV-2スパイク輸送を制御する

宮内浩典、関紗由里、原田恵嘉、侯野哲朗

国立感染症研究所

O9-2 SARS-CoV-2 Delta株ブレイクスルー感染例から分離した抗体の交差中和活性

桑田岳夫、郭 悠、清水美紀子、
Biswas Shashwata、松本佳穂、
Khairy Hamdy Edri Ahmed、松下修三

熊本大学ヒトレトロウイルス共同研究センター

O9-3 抗 SARS-CoV-2 メインプロテアーゼ阻害剤の創薬研究開発

鎌田伸好¹⁾、辻 耕平²⁾、林 宏典³⁾、石井貴大²⁾、小早川拓也²⁾、中野堅太⁴⁾、服部真一朗¹⁾、岸本直樹⁵⁾、高宗暢暁⁵⁾、青木宏美^{1,6)}、Haydar Bulut⁷⁾、Debananda Das⁷⁾、今井正樹^{8,9)}、木曾真紀⁹⁾、助永義和¹⁾、高松悠樹¹⁾、岡村匡史⁴⁾、三隅将吾⁵⁾、河岡義裕^{4,9,10)}、玉村啓和²⁾、満屋裕明^{1,6,7)}

- 1) 国立国際医療研究センター研究所難治性ウイルス感染症研究部
- 2) 東京医科歯科大学・生体材料工学研究所
- 3) 東北大学災害科学国際研究所
- 4) 国立国際医療研究センター研究所動物実験施設感染症制御研究部
- 5) 熊本大学大学院生命科学研究所附属グローバル天然物科学研究センター環境分子保健学分野
- 6) 熊本大学附属病院
- 7) Experimental Retrovirology Section, NCI, NIH, DHHS
- 8) 東京大学医科学研究所ウイルス感染部門
- 9) 国立国際医療研究センター研究所国際ウイルス感染症センター
- 10) Influenza Research Institute, School of Veterinary Medicine, University of Wisconsin-Madison

O9-4 ニルマトレルビルとその誘導体に耐性を示す SARS-CoV-2 変異株の誘導と耐性獲得機序の解明

服部真一朗¹⁾、Haydar Bulut²⁾、岸本直樹³⁾、高宗暢暁³⁾、鎌田伸好¹⁾、玉村啓和⁴⁾、満屋裕明^{1,2,5)}

- 1) 国立国際医療研究センター研究所
- 2) National Cancer Institute, National Institutes of Health
- 3) 熊本大学大学院生命科学研究所
- 4) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所
- 5) 熊本大学病院総合臨床研究部

O9-5 HIV 長期感染者における SARS-CoV-2 mRNA ワクチン誘導性 S 抗原特異的 T 細胞応答の解析

Thi Thu Thao Dang^{1,2)}、細谷 (中山) 香¹⁾、Alitez Anzures^{1,2)}、田部亜季¹⁾、吉村幸浩³⁾、立川夏夫⁴⁾、侯野哲朗^{1,2,5)}、立川 (川名) 愛^{1,2,5)}

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 横浜市立市民病院感染症内科
- 4) 名古屋市立総合病院総合内科
- 5) 東京大学医科学研究所附属病院エイズワクチン開発担当

O9-6 SARS-CoV-2 感染が PLWH に及ぼす腸内細菌叢変化と病態との相関関係

水谷壮利¹⁾、石坂 彩²⁾、古賀道子²⁾、山吉誠也^{3,4)}、岩附研子³⁾、安達英輔⁵⁾、鈴木 穰¹⁾、河岡義裕^{3,4,6,7)}、四柳 宏^{2,5)}

- 1) 東京大学大学院新領域創成科学研究科
- 2) 東京大学医学研究所先端医療研究センター感染症分野
- 3) 東京大学医学研究所ウイルス感染部門
- 4) 国立国際医療研究センター国際ウイルス感染症研究センター
- 5) 東京大学医学研究所附属病院感染免疫内科
- 6) Influenza Research Institute, Department of Pathobiological Sciences, School of Veterinary Medicine, University of Wisconsin-Madison, Madison, WI, USA
- 7) 東京大学国際高等研究所新世代感染症センター

■日時：12月3日(日) 13:45~14:25

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

O10 (臨・C) 抗 HIV 療法 2

座長 関谷綾子

(東京医科大学臨床検査医学分野)

平野 淳

(国立病院機構名古屋医療センター薬剤部)

O10-1 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第1報 健康状態と生活状況の概要

白阪琢磨¹⁾、川戸美由紀²⁾、橋本修二²⁾、三重野牧子³⁾、天野景裕⁴⁾、大金美和⁵⁾、岡本 学¹⁾、湯永博之⁵⁾、日笠 聡⁶⁾、八橋 弘⁷⁾、岡 慎¹⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター
- 2) 藤田医科大学
- 3) 自治医科大学
- 4) 東京医科大学
- 5) 国立国際医療研究センター
- 6) 兵庫医科大学
- 7) 国立病院機構長崎医療センター

O10-2 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査—抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査 (2023年)

関根祐介¹⁾、澤田暁宏²⁾、増田純一³⁾、小島賢一⁴⁾

- 1) 東京医科大学病院薬剤部
- 2) 兵庫医科大学呼吸器・血液内科
- 3) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 4) 狭達病院血液凝固科

O10-3 HIV 感染患者における抗 HIV 薬と併用薬の使用状況及び抗 HIV 療法の治療満足度との関連：患者報告アウトカム多施設共同研究

登佳寿子¹⁾、日笠真一²⁾、石原正志³⁾、
築地茉莉子⁴⁾、國本雄介⁵⁾、木村丈司⁶⁾、
山本有紀⁷⁾、治田匡平⁸⁾、柏原陽平⁹⁾、
藤井健司¹⁰⁾

- 1) 神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部
- 2) 兵庫医科大学病院薬剤部
- 3) 岐阜大学医学部付属病院薬剤部
- 4) 千葉大学医学部付属病院薬剤部
- 5) 札幌医科大学付属病院薬剤部
- 6) 神戸大学医学部付属病院薬剤部
- 7) 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター薬剤部
- 8) 奈良県立医科大学病院薬剤部
- 9) 京都第一赤十字病院薬剤部
- 10) 広島大学病院薬剤部

O10-4 PBPM に基づく薬剤師面談は外来患者の薬物治療の適正化とアドヒアランス向上をもたらす

神成はるか¹⁾、西松直美¹⁾、小谷 宙¹⁾、
櫻井洋臣¹⁾、村松 博¹⁾、青森 達^{1,2,3)}、
大谷壽一^{1,2,3)}

- 1) 慶應義塾大学病院薬剤部
- 2) 慶應義塾大学薬学部
- 3) 慶應義塾大学医学部

O10-5 インテグラーゼ阻害薬を含む STR 服用患者における服薬不遵守の危険因子：患者報告アウトカム多施設共同研究

國本雄介¹⁾、日笠真一²⁾、石原正志³⁾、
築地茉莉子⁴⁾、登佳寿子⁵⁾、木村丈司⁶⁾、
山本有紀⁷⁾、治田匡平⁸⁾、柏原陽平⁹⁾、
藤井健司¹⁰⁾、福土将秀¹⁾

- 1) 札幌医科大学付属病院
- 2) 兵庫医科大学病院
- 3) 岐阜大学医学部付属病院
- 4) 千葉大学医学部付属病院
- 5) 神戸市立医療センター中央市民病院
- 6) 神戸大学医学部付属病院
- 7) 姫路医療センター
- 8) 奈良県立医科大学付属病院
- 9) 京都第一赤十字病院
- 10) 広島大学病院

■日時：12月3日(日) 14:40~15:28

■会場：第5会場(2F ル・ボワ)

O11 (臨・C) 抗 HIV 療法 3

座長 日笠真一

(兵庫医科大学病院)

吉野宗宏

(国立病院機構大阪医療センター)

O11-1 横浜市立市民病院におけるカボテグラビル・リルビピリン持続性注射製剤の使用状況

宗 佑奈、佐藤公亮、宮田順之、吉村幸浩

横浜市立市民病院感染症内科

O11-2 医薬品副作用データベース(JADER)を用いたプロテアーゼ阻害薬及びインテグラーゼ阻害薬の高血糖/糖尿病の発症リスクに関する検討

工藤正樹¹⁾、高瀬野乃花²⁾、朝賀純一^{1,2)}、
工藤賢三^{1,2)}

- 1) 岩手医科大学付属病院薬剤部
- 2) 岩手医科大学薬学部臨床薬学講座臨床薬学分野

O11-3 抗 HIV 療法開始後における多剤併用に関する検討

黒田訓宏、日笠真一、島袋翔多、
秀田恭子、田中邦佳、柳井美奈、木村 健

兵庫医科大学病院薬剤部

O11-4 ビクタルビ配合錠 PTP 包装変更における患者動向の変化と薬剤師の関わり

海老昌子¹⁾、澤田智世¹⁾、野口梨紗¹⁾、
山本奈緒¹⁾、富澤星華¹⁾、白井莉和子²⁾、
中村文哉³⁾、松井 洸⁴⁾、阿部真也⁴⁾、
山口 浩⁴⁾、野村和彦⁴⁾

- 1) 調剤薬局ツルハドレッジ白金台店
- 2) 調剤薬局ツルハドレッジ世田谷千歳台店
- 3) 株式会社ツルハ
- 4) ツルハHD

O11-5 当院における HIV ウイルス指向性による患者背景の考察

柏木克仁¹⁾、吉澤定子^{2,3)}、森 岳雄¹⁾、
佐藤高広¹⁾、前田 正¹⁾、宮崎泰斗¹⁾、
石井良和²⁾、館田一博²⁾

- 1) 東邦大学医療センター大森病院総合感染症科
- 2) 東邦大学微生物・感染症学講座
- 3) 東邦大学医療センター大森病院臨床検査部

O11-6 当院に通院中の患者を対象とした、陽性者支援のありかたに関するアンケート調査

坂部茂俊¹⁾、磯田理沙²⁾、村田 舞²⁾、小倉香里²⁾、福岡志延²⁾、森尾志保²⁾、藤井義典²⁾、服部公紀²⁾、田中宏幸¹⁾、中西雄紀¹⁾、豊嶋弘一¹⁾

- 1) 伊勢赤十字病院感染症内科
- 2) 伊勢赤十字病院看護部
- 3) 伊勢赤十字病院医療社会事業部
- 4) 伊勢赤十字病院薬剤部

■日時：12月3日(日) 14:40~15:12
■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

O12 (基・B) 潜伏感染・リザーバー

座長 高橋尚史

(熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

立川 愛

(国立感染症研究所)

O12-1 HIV-1 感染における単球分画の解析

高橋尚史、Youssef Eltalkhawy、Randa Ahmed、鈴 伸也

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

O12-2 Assessment of oral ART on the HIV-reservoir size in the natural controller non-human primate model

Keshta Abeer¹⁾、Kovba Anastasiia¹⁾、鷲崎彩夏¹⁾、松岡和弘²⁾、平野 淳²⁾、大出裕高²⁾、岩谷靖雅²⁾、保富康宏³⁾、原田恵嘉⁴⁾、石井 洋⁴⁾、俣野哲朗⁴⁾、三浦智行²⁾、Grover Poonam¹⁾、Kidiga Maureen¹⁾、林 咲良¹⁾、Zaixi Fang¹⁾、明里宏文¹⁾

- 1) 京都大学ヒト行動進化研究センター
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター・臨床研究センター
- 3) 医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類疫学科学センター
- 4) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 5) 京都大学医生物学研究所

O12-3 単球系リザーバ細胞におけるプロウイルス活性制御因子 SCP の解析

多賀 佳¹⁾、武内寛明^{2,3,4)}

- 1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科ウイルス制御学分野
- 2) 国立大学法人東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科ウイルス感染症研究マネジメント学分野
- 3) 国立大学法人東京医科歯科大学大学院統合研究機構リサーチコアセンター
- 4) 東京医科歯科大学病院

O12-4 HIV 感染細胞にアポトーシスを誘導する植物抽出物

藤田美歌子¹⁾、田原由莉歌¹⁾、王 東星²⁾、立石 大¹⁾、戸上暉大¹⁾、大塚雅巳^{1,3)}、前田洋助⁴⁾、渡邊高志²⁾、門出和精⁴⁾

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部サイエンスファーム生体機能化学共同研究講座
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部薬用植物学分野
- 3) サイエンスファーム株式会社
- 4) 熊本大学大学院生命科学研究部微生物学分野

■日時：12月3日(日) 14:40~15:28

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

O13 (臨・C) 抗HIV療法4

座長 尾崎淳子

(京都大学医学部附属病院薬剤部)

治田匡平

(奈良県立医科大学附属病院薬剤部)

O13-1 NDB データを用いた HIV 感染者の医療費分析：エイズ発症群と未発症群の比較

谷口俊文¹⁾、尾又一実²⁾、今橋真弓³⁾、野田龍也⁴⁾

- 1) 千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科
- 2) 国立国際医療研究センターデータサイエンス部
- 3) 名古屋医療センター臨床研究センター感染免疫研究部
- 4) 奈良県立医科大学公衆衛生学講座

O13-2 診断されて25年以上経過している HIV 感染者の現状

古屋裕理¹⁾、池谷健一¹⁾、関根祐介¹⁾、竹内裕紀¹⁾、村松 崇²⁾、四本美保子²⁾、萩原 剛²⁾、天野景裕²⁾、木内 英²⁾

- 1) 東京医科大学病院薬剤部
- 2) 東京医科大学病院臨床検査医学科

O13-3 血液製剤院外処方への取り組みと薬業連携による患者サポートの整備

松永真実^{1,2)}、合原嘉寿^{1,2)}、山口泰弘^{1,2)}、藤瀬陽子^{1,2)}、大橋邦央^{1,2)}、橋本雅司^{1,2)}、中嶋恵理子^{2,3)}、高瀬宗一郎^{2,3)}、南 留美^{2,3)}

- 1) 国立病院機構九州医療センター薬剤部
- 2) 国立病院機構九州医療センター臨床研究センター
- 3) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科

O13-4 広島大学病院における CAB+RPV 注射薬導入時の薬剤師による患者意思決定支援

石井聡一郎¹⁾、藤井健司¹⁾、板村まりの¹⁾、天野莉沙¹⁾、大東敬和¹⁾、藤井輝久²⁾、松尾裕彰¹⁾

- 1) 広島大学病院薬剤部
- 2) 広島大学病院エイズ医療対策室

O13-5 HIV 感染患者におけるウイルス抑制とその関連因子：患者報告アウトカム多施設共同研究

木村丈司¹⁾、日笠真一²⁾、石原正志³⁾、築地茉莉子⁴⁾、國本雄介⁵⁾、登佳寿子⁶⁾、山本有紀⁷⁾、治田匠平⁸⁾、柏原陽平⁹⁾、藤井健司¹⁰⁾

- 1) 神戸大学医学部附属病院薬剤部
- 2) 兵庫医科大学病院薬剤部
- 3) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
- 4) 千葉大学医学部附属病院薬剤部
- 5) 札幌医科大学附属病院薬剤部
- 6) 神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部
- 7) 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター薬剤部
- 8) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部
- 9) 京都第一赤十字病院薬剤部
- 10) 広島大学病院薬剤部

O13-6 カボテグラビル+リルピリンの使用経験と POMS による精神神経系有害事象の評価

合原嘉寿^{1,2,3)}、山口泰弘^{1,2,3)}、松永真実^{1,2,3)}、橋本雅司^{1,2)}、木下理沙^{2,3)}、曾我真千恵^{2,3)}、中嶋恵理子^{2,3,4)}、高濱宗一郎^{2,3,4)}、南 留美^{2,3,4)}

- 1) 国立病院機構九州医療センター薬剤部
- 2) 国立病院機構九州医療センター臨床研究センター
- 3) 国立病院機構九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター
- 4) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科

■日時：12月3日(日) 15:40~16:12

■会場：第5会場(2F ル・ボワ)

O14 (社・S) 疫学

座長 本間隆之

(山梨県立大学看護学部)

高濱宗一郎

(国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科)

O14-1 HIV 感染症における早期 ART の効果についての推計

尾又一実¹⁾、菊池 嘉¹⁾、今橋真弓²⁾、野田龍也²⁾、谷口俊文⁴⁾

- 1) 国立国際医療研究センター
- 2) 名古屋医療センター
- 3) 奈良県立医科大学
- 4) 千葉大学

O14-2 HIV 陽性者における性感染症の実態

松川敏大^{1,2)}、遠藤知之^{1,2)}、長井 惇^{1,3)}、宮島 徹^{1,3)}、須藤啓斗^{1,3)}、長谷川祐太^{1,2)}、荒 隆英^{1,2)}、後藤秀樹^{1,2)}、豊嶋崇徳^{1,2)}

- 1) 北海道大学大学院血液内科学
- 2) 北海道大学病院HIV診療支援センター
- 3) エイズ予防財団

O14-3 COVID-19 パンデミックがエイズ中核拠点病院の HIV/AIDS 診療に及ぼした影響とパンデミック下におけるエイズ診療の課題

齊藤誠司¹⁾、山崎由佳²⁾、河野泰宏²⁾、安岡悠典²⁾、野田綾香²⁾、野村直幸²⁾、木梨貴博²⁾、飯塚暁子²⁾、福井洋介²⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター感染症内科
- 2) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター広島県東部地区エイズ治療センター

O14-4 福岡県内の STI 関連病院におけるアンケート調査

高濱宗一郎¹⁾、中嶋恵理子¹⁾、山地由恵²⁾、犬丸真司²⁾、長與由紀子²⁾、城崎真弓²⁾、南 留美¹⁾

- 1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
- 2) 国立病院機構九州医療センター看護部

■日時：12月3日(日) 15:40~16:28

■会場：第6会場(2F サロンドジャルム)

O15 (臨・C) 薬剤耐性・その他

座長 菊地 正

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

四本美保子

(東京医科大学臨床検査医学分野)

O15-1 Comparative Assessment of Anal Human Papillomavirus Genotyping Assays : Discordance between the Linear Array and LIPA25 Systems for High-Risk Genotypes.

藤本加代

University of Texas Health Science Center at Houston

O15-2 日本人 HIV 患者における TAF/TFV/FTC の薬物動態および薬理遺伝学解析

土屋亮人¹⁾、Hieu Trung Tran^{1,2)}、川島 亮^{1,2)}、渡辺恒二¹⁾、濱田哲暢^{3,4)}、岡 慎一^{1,2)}、瀧永博之^{1,2)}

- 1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 国立がん研究センター研究所分子薬理研究分野
- 4) 熊本大学大学院医学教育部腫瘍治療・トランスレーショナルリサーチ学分野

O15-3 2022 年度 HIV-1 薬剤耐性検査外部精 度評価の報告

吉田 繁¹⁾、松田昌和²⁾、今橋真弓²⁾、岡田清美³⁾、齊藤浩一⁴⁾、林田庸総⁵⁾、佐藤かおり⁶⁾、藤澤真一⁶⁾、遠藤知之⁷⁾、西澤雅子⁸⁾、椎野禎一郎⁹⁾、瀧永博之⁵⁾、豊嶋崇徳⁷⁾、杉浦 亙⁵⁾、吉村和久²⁾、菊地 正²⁾

- 1) 北海道医療大学医療技術学部臨床検査学科
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター
- 3) 北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所
- 4) LSIメディエンス
- 5) 国立国際医療研究センター
- 6) 北海道大学病院検査・輸血部
- 7) 北海道大学病院血液内科
- 8) 国立感染症研究所
- 9) 東京都健康安全研究センター

O15-4 2022 年の国内新規診断未治療 HIV 感染者・AIDS 患者における薬剤耐性 HIV-1 の動向

菊地 正¹⁾、西澤雅子¹⁾、小島潮子¹⁾、大谷眞智子¹⁾、Lucky Runtwene¹⁾、椎野禎一郎^{1,4)}、豊嶋崇徳²⁾、伊藤俊広³⁾、林田庸総⁴⁾、瀧永博之⁴⁾、岡 慎一⁴⁾、古賀道子⁵⁾、長島真美⁶⁾、貞升健志⁶⁾、佐野貴子⁷⁾、近藤真規子⁷⁾、宇野俊介⁸⁾、谷口俊文⁹⁾、猪狩英俊⁹⁾、寒川 整¹⁰⁾、中島秀明¹⁰⁾、吉野友祐¹¹⁾、堀嶋昌英¹²⁾、茂呂 寛¹³⁾、渡邊珠代¹⁴⁾、蜂谷敦子¹⁵⁾、今橋真弓¹⁵⁾、松田昌和¹⁵⁾、重見 麗¹⁵⁾、岡崎玲子¹⁵⁾、岩谷靖雅¹⁵⁾、横幕能行¹⁵⁾、渡邊 大¹⁶⁾、阪野文哉¹⁷⁾、川畑拓也¹⁷⁾、藤井輝久¹⁸⁾、高田清式¹⁹⁾、中村麻子²⁰⁾、南 留美²¹⁾、松下修三²²⁾、饒平名聖²³⁾、仲村秀太²³⁾、健山正男²³⁾、藤田次郎²³⁾、吉村和久⁶⁾、杉浦 亙⁴⁾

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 北海道大学
- 3) 仙台医療センター
- 4) 国立国際医療研究センター
- 5) 東京大学医学研究所
- 6) 東京都健康安全研究センター
- 7) 神奈川県衛生研究所
- 8) 慶應義塾大学
- 9) 千葉大学
- 10) 横浜市立大学
- 11) 帝京大学
- 12) 東埼玉病院
- 13) 新潟大学
- 14) 石川県立中央病院
- 15) 名古屋医療センター
- 16) 大阪医療センター
- 17) 大阪健康安全基盤研究所
- 18) 広島大学
- 19) 愛媛大学
- 20) 福岡県保健環境研究所
- 21) 九州医療センター
- 22) 熊本大学
- 23) 琉球大学

O15-5 日本における治療選択肢の限られた people living with HIV (PLWH with LTO [limited treatment options]) の有病率と臨床的特徴：MDV レセプトデータ解析

原田圭輔¹⁾、Yi Piao¹⁾、Annalisa Rubino²⁾、Dylan Mezzio³⁾、KuanYeh Lee⁴⁾、井上幸恵⁵⁾、増田有里子⁵⁾、田口 直¹⁾、谷川哲也¹⁾、瀧永博之⁶⁾

- 1) ギリアド・サイエンシス株式会社メディカルアフェアーズ本部
- 2) Gilead Sciences Europe Ltd.
- 3) Gilead Sciences, Inc.
- 4) Gilead Sciences, Global Medical Affairs
- 5) クレノメディカルアセスメント株式会社
- 6) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

O15-6 ウイルス学的寛解継続中における CD4 数増加に関する影響因子の同定

藤井輝久¹⁾、山崎尚也²⁾、中中奈苗²⁾、
藤井宝恵²⁾、矢内綾佳³⁾、小松真由美³⁾、
山岡愛子³⁾、野間慎尋³⁾

- 1) 広島大学病院輸血部・エイズ医療対策室
- 2) 広島大学病院輸血部
- 3) 広島大学病院診療支援部

■日時：12月3日(日) 15:40~16:28

■会場：第7会場(1F ラシゴーニユ)

O16 (臨・C) 薬害・高齢化

座長 仲村秀太

(琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科)

澤田暁宏

(兵庫医科大学呼吸器・血液内科)

O16-1 仙台医療センターで行った血友病薬害被害者対象の冠動脈スクリーニング検査の結果

今村淳治¹⁾、佐々木晃子¹⁾、安藤友季¹⁾、
尾上紀子²⁾、篠崎 毅²⁾、伊藤俊広¹⁾

- 1) 国立病院機構仙台医療センター感染症内科
- 2) 同循環器内科

O16-2 入院後に判明した HIV 感染症患者を多職種で連携することで当院で加療及び訪問診療の導入ができた 1 例

江藤謙吾¹⁾、高佐顕之²⁾、山下智史²⁾、
渡久山哲男²⁾、伊藤 俊²⁾、中川潤一²⁾

- 1) 相模原市立藤野診療所
- 2) 相模原市赤十字病院

O16-3 北陸ブロックにおける HIV 感染者の 5 年間の変化についての検討

渡邊珠代¹⁾、辻 典子²⁾、朝倉英策³⁾、
森永浩次⁴⁾、吉尾伸之⁵⁾、井上 仁⁶⁾、
今村 信⁷⁾、清水和朗⁸⁾、高松秀行⁹⁾、
宮嶋友希¹⁰⁾、彼谷裕康¹¹⁾、岩崎博道¹²⁾

- 1) 石川県立中央病院免疫感染症科
- 2) 石川県立中央病院 HIV 事務室
- 3) 金沢大学附属病院
- 4) 福井県立病院
- 5) 国立病院機構金沢医療センター
- 6) 国立病院機構敦賀医療センター
- 7) 福井赤十字病院
- 8) 市立敦賀病院
- 9) 黒部市市民病院
- 10) 富山大学附属病院
- 11) 富山県立中央病院
- 12) 福井大学医学部附属病院

O16-4 当院通院中の PLWH (People Living With HIV) におけるフレイル有病率とその関連因子に関する検討

仲村秀太¹⁾、高江洲壮¹⁾、前田サオリ²⁾、
宮城京子²⁾、大田久美子³⁾、上原 仁³⁾、
諸見里牧子³⁾、饒平名聖⁴⁾、新里尚美⁵⁾、
石郷岡美穂⁶⁾、上 薫⁷⁾、金城隆展⁸⁾、
山本和子¹⁾

- 1) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科
- 2) 琉球大学病院看護部
- 3) 琉球大学病院薬剤部
- 4) 琉球大学病院検査・輸血部
- 5) 沖縄県感染症診療保健医療部ワクチン接種等戦略課
- 6) 琉球大学病院医療福祉センター
- 7) 琉球大学大学院医学研究科脳神経外科学
- 8) 琉球大学病院地域・国際医療部

O16-5 外来における HIV 感染高齢患者への在宅療養支援の看護実践

鈴木ひとみ¹⁾、坂井志麻²⁾

- 1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
- 2) 上智大学総合人間学部看護学科

O16-6 死亡例から考える外来通院患者への関わり方

松本雅美、宮崎直子、大淵和子、
中山 智、吉村幸浩

横浜市立市民病院

■日時：12月3日(日) 16:40~17:36

■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

O17 (臨・C) 母子感染

座長 高野政志

(防衛医科大学校病院産科婦人科)

田中瑞恵

(国立国際医療研究センター小児科)

O17-1 COVID-19 パンデミックによる HIV 感染妊婦およびその出生児の診療への影響

吉野直人^{1,2)}、伊藤由子²⁾、岩動ちず子²⁾、
小山理恵²⁾、菊池琴佳²⁾、高橋尚子^{1,2)}、
杉浦 敦²⁾、田中瑞恵²⁾、山田里佳²⁾、
北島浩二²⁾、出口雅士²⁾、高野政志²⁾、
喜多恒和²⁾

- 1) 岩手医科大学医学部微生物学講座感染症学・免疫学分野
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班

O17-2 若年への HIV 母子感染に関する情報の普及啓発方法の検討―意見交換会と参加者アンケート結果から―

羽柴知恵子¹⁾、渡邊英恵²⁾、高野政志³⁾、
蜂谷敦子⁴⁾、喜多恒和⁵⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
- 2) 独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター
- 3) 防衛医科大学校病院
- 4) 東京医科大学病院
- 5) 奈良県総合医療センター

O17-3 HIV 感染妊娠における分娩時母体への AZT 投与に関する検討

杉浦 敦^{1,2)}、竹田善則²⁾、山中彰一郎²⁾、
市田宏司²⁾、中西美紗緒²⁾、箕浦茂樹²⁾、
高野政志²⁾、桃原祥人²⁾、小林裕幸²⁾、
藤田 綾²⁾、高橋尚子²⁾、吉野直人²⁾、
山田里佳²⁾、田中瑞恵²⁾、北島浩二²⁾、
出口雅士²⁾、外川正生²⁾、喜多恒和²⁾

- 1) 武蔵野赤十字病院産婦人科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班

O17-4 HIV 母子感染全国一次調査質問目の後方視的考察

吉野直人^{1,2)}、高橋尚子^{1,2)}、杉浦 敦²⁾、
田中瑞恵²⁾、山田里佳²⁾、北島浩二²⁾、
出口雅士²⁾、高野政志²⁾、蓮尾泰之²⁾、
林 公一²⁾、外川正生²⁾、喜多恒和²⁾

- 1) 岩手医科大学医学部微生物学講座感染症学・免疫学分野
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班

O17-5 HIV 感染妊娠に関する情報の普及啓発方法の開発～SNSを活用した若者への情報発信の試み～

高野政志^{1,2)}、喜多恒介^{2,3)}、川島史奈³⁾、
榎本美喜子^{2,4)}、藤田 綾^{2,4)}、出口雅士²⁾、
吉野直人²⁾、高橋尚子²⁾、杉浦 敦²⁾、
田中瑞恵²⁾、北島浩二²⁾、山田里佳²⁾、
蓮尾泰之²⁾、林 公一²⁾、外川正生²⁾、
佐久本薫²⁾、喜多恒和^{2,4)}

- 1) 防衛医科大学校病院産科婦人科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班
- 3) 株式会社キタイエ
- 4) 奈良県総合医療センター

O17-6 啓発資料事前配付による妊娠初期女性の HIV 感染・性感染症に対する理解度調査

浅野 真^{1,2)}、高野政志^{2,3)}、石橋理子²⁾、
佐野貴子²⁾、瀬戸理玄²⁾、谷村憲司²⁾、
多田和美²⁾、松田秀雄²⁾、桃原祥人²⁾、
森實真由美²⁾、榎本美喜子^{2,4)}、
藤田 綾^{2,4)}、出口雅士²⁾、吉野直人²⁾、
高橋尚子²⁾、杉浦 敦²⁾、田中瑞恵²⁾、
北島浩二²⁾、山田里佳²⁾、林 公一²⁾、
喜多恒和^{2,4)}

- 1) 東京都立大塚病院産婦人科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班
- 3) 防衛医科大学校病院産科婦人科
- 4) 奈良県総合医療センター

O17-7 小児 HIV 感染症の発生动向および診断時の状況の変遷 (第 2 報)

田中瑞恵^{1,2)}、外川正生^{1,2)}、兼重昌夫^{1,2)}、
細川真一²⁾、前田尚子²⁾、寺田志津子²⁾、
中河秀憲²⁾、時川麻紀^{1,2)}、吉野直人²⁾、
杉浦 敦²⁾、北島浩二²⁾、喜多恒和²⁾

- 1) 国立国際医療研究センター小児科
- 2) 厚生労働省科学補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班 (母子感染研究班)

■日時：12月3日(日) 16:40～17:28

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

O18 (臨・C) HAND・心理

座長 高田清武

(愛媛大学医学部附属病院地域医療支援センター)

森田眞子

(国立病院機構大阪医療センター臨床心理室)

O18-1 中国四国地方における HIV 関連神経認知障害に関する研究・続報

木原久文¹⁾、中尾 綾¹⁾、臼井麻子²⁾、
西田拓洋³⁾、徳井恵美⁴⁾、海面 敬⁵⁾、
赤松祐美⁵⁾、谷 英俊⁶⁾、池谷千恵⁷⁾、
中村美保³⁾、川田通子⁴⁾、武内世生³⁾、
佐藤 譲³⁾、今瀧 修³⁾、尾崎修治⁵⁾、
和田秀穂³⁾、千酌浩樹¹⁾、川邊憲太郎¹⁾、
山之内純¹⁾、高田清武¹⁾

- 1) 愛媛大学医学部附属病院
- 2) 関門医療センター
- 3) 高知大学医学部附属病院
- 4) 香川大学医学部附属病院
- 5) 徳島県立中央病院
- 6) 川崎医科大学附属病院
- 7) 鳥取大学医学部附属病院

O18-2 多職種介入により継続的な外来支援を継続できている HIV 関連神経認知障害の一例

廣瀬友城^{1,2)}、飯田敏晴¹⁾、諸井文子¹⁾、堀場昌英¹⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院
- 2) 医療法人輔仁会大宮厚生病院

O18-3 HIV 感染者の気分状態と睡眠に関する検討 第2報

中尾 綾¹⁾、レイシー清美¹⁾、若松 綾²⁾、末盛浩一郎¹⁾、河邊憲太郎³⁾、山之内純¹⁾、竹中克斗¹⁾、高田清式⁴⁾

- 1) 愛媛大学大学院血液・免疫・感染症内科学
- 2) 愛媛大学医学部附属病院看護部
- 3) 愛媛大学大学院精神神経科学
- 4) 愛媛大学医学部附属病院地域医療支援センター

O18-4 HIV 感染症患者のメンタルヘルスを考える看護職と心理職の協働を考える一シンポジウムアンケートの結果を振り返って

木村聡太¹⁾、城崎真弓²⁾、戸蔭祐子³⁾、大友 健¹⁾、池田和子¹⁾、横暮能行⁴⁾

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究センター
- 2) 国立病院機構九州医療センター
- 3) 慶應義塾大学病院
- 4) 国立病院機構名古屋医療センター

O18-5 HIV 診療における CoCoBattery の活用方法

西田拓洋¹⁾、中尾 綾²⁾、臼井麻子³⁾、海面 敬⁴⁾、徳井恵美⁵⁾、赤松祐美⁶⁾、谷 英俊⁷⁾、池谷知恵⁷⁾、中村美保¹⁾、川田通子³⁾、武内世生¹⁾、佐藤 穰³⁾、尾崎修治⁴⁾、今瀧 修⁵⁾、和田秀穂⁶⁾、千酌浩樹⁷⁾、河邊憲太郎²⁾、山之内純²⁾、高田清式²⁾

- 1) 高知大学医学部附属病院
- 2) 愛媛大学医学部附属病院
- 3) 関門医療センター
- 4) 徳島県立中央病院
- 5) 香川大学医学部附属病院
- 6) 川崎医科大学附属病院
- 7) 鳥取大学医学部附属病院

O18-6 HIV 感染者を対象とした Unmet Needs に関する研究の動向

鍵浦文子

広島国際大学

■日時：12月3日(日) 16:40~17:28

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

O19 (臨・C) アンコール 1

座長 谷口俊文

(千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科)

四本美保子

(東京医科大学臨床検査医学分野)

O19-1 持効性カボテグラビル+リルピビリンの維持療法 152 週における Patient-reported outcomes: ATLAS-2M 後期第 III 相臨床試験

中村慎之介¹⁾、Vasiliki Chounta²⁾、Edgar T. Overton³⁾、Sebastian Noe⁴⁾、Susan Swindells⁵⁾、Eugenia Negredo⁶⁾、Ronald D'Amico⁷⁾、Conn Harrington⁷⁾、Simon Vanvegge⁸⁾、Rodica van Solingen-Ristea⁹⁾、Yuanyuan Wang⁹⁾、Carolina Acupil⁷⁾、William R. Spreen⁷⁾

- 1) ヴィーヘルスケア株式会社
- 2) ViiV Healthcare, UK
- 3) University of Alabama at Birmingham, USA
- 4) MVZ Munchen Am Goetheplatz, Germany
- 5) University of Nebraska Medical Center, USA
- 6) Germans Trias i Pujol University Hospital, Spain
- 7) ViiV Healthcare, USA
- 8) Janssen Research & Development, Belgium
- 9) GSK, USA

O19-2 欧州における持効性カボテグラビル+リルピビリン (CAB+RPV LA) 実装試験 CARISEL で見出された患者の認識

細野耕平¹⁾、Thomas Lutz²⁾、Eliette Jeanmaire³⁾、Joaquin Portilla⁴⁾、Jenny Scherzer⁵⁾、Rekha Trehan⁶⁾、Miguel Pascual-Bernaldez⁷⁾、Rebecca DeMoor⁸⁾、Mounir Ait-Khaled⁶⁾、Monica Hadi⁹⁾、Savita Bakhshi Anand⁹⁾、Emma L. Low⁹⁾、Maggie Czarnogorski¹⁰⁾、Cassidy A. Gutner¹⁰⁾

- 1) ヴィーヘルスケア株式会社
- 2) Infektio Research, Germany
- 3) CHRU de Nancy, France
- 4) Hospital General Universitario de Alicante, Spain
- 5) ViiV Healthcare GmbH, Germany
- 6) ViiV Healthcare, UK
- 7) ViiV Healthcare, Spain
- 8) GSK, USA
- 9) Evidera, UK
- 10) ViiV Healthcare, USA

O19-3 持効性カボテグラビル+リルビピリンの bicteggravir/emtricitabine/tenofovir alafenamide に対する Patient-reported outcomes : SOLAR 後期第 III 相臨床試験 12 カ月の結果

渡邊 大¹⁾、Vasiliki Chounta²⁾、Cristina Mussini³⁾、Charles Cazanave⁴⁾、安達英輔⁵⁾、Beng Eu⁶⁾、Marta Montero Alonso⁷⁾、Gordon Crofoot⁸⁾、Kenneth Sutton⁹⁾、Denise Sutherland-Phillips⁹⁾、Rimgaile Urbaityte¹⁰⁾、Alice Ehmann¹¹⁾、Patricia de los Rios⁹⁾、Ronald D'Amico⁹⁾、William R. Spreen⁹⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター
- 2) ViiV Healthcare, UK
- 3) University of Modena and Reggio Emilia, Italy
- 4) Pellegrin Hospital, University Hospital of Bordeaux, France
- 5) 東京大学医科学研究所附属病院
- 6) Prahlan Market Clinic, Australia
- 7) La Fe University and Polytechnic Hospital, Spain
- 8) The Crofoot Research Center, INC., USA
- 9) ViiV Healthcare, USA
- 10) GSK, UK
- 11) GSK, USA

O19-4 持効性カボテグラビル+リルビピリンの性別、年齢、人種および BMI によるサブグループ解析 : SOLAR 後期第 III 相臨床試験

岡 慎一¹⁾、Beng Eu²⁾、James Sims³⁾、Vicente Estrada⁴⁾、Mehri McKellar⁵⁾、Juan Flores⁶⁾、Anja Potthoff^{7,8)}、Lori A. Gordon⁹⁾、Denise Sutherland-Phillips⁹⁾、Kenneth Sutton⁹⁾、Christine L. Latham⁹⁾、Alessandro Berni¹⁰⁾、Rimgaile Urbaityte¹⁰⁾、Rodica Van Solingen-Ristea¹¹⁾、Ronald D'Amico⁹⁾、Harmony P. Garges⁹⁾、Kimberly Smith⁹⁾、Jean van Wyk¹²⁾

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) Prahlan Market Clinic, Australia
- 3) St. Hope Foundation, USA
- 4) Hospital Clinico San Carlos, Spain
- 5) Duke University School of Medicine, USA
- 6) Hospital Arnau de Vilanova, Spain
- 7) Walk In Ruhr, Center for Sexual Health and Medicine, Germany
- 8) Interdisciplinary Immunological Outpatient Clinic, Center for Sexual Health and Medicine, Germany
- 9) ViiV Healthcare, USA
- 10) GSK, UK
- 11) Janssen R&D, Belgium
- 12) ViiV Healthcare, UK

O19-5 Population PK Analysis to Guide Dosing Window Following Lenacapavir SC Administration

Naveed A Shaik¹⁾、Francesco Bellanti²⁾、Craig Comisar²⁾、Martin Rhee¹⁾、Sandhya Girish¹⁾、Ramesh Palaparthi¹⁾、Nao Taguchi³⁾、Renu Singh¹⁾

- 1) Gilead Sciences, Inc. Foster City, CA, USA
- 2) Certara Inc., Princeton, NJ, USA
- 3) ギリアド・サイエンス株式会社

O19-6 WEEK (W) 52 SUBGROUP EFFICACY OF LENACAPAVIR (LEN) IN HEAVILY TREATMENT-EXPERIENCED (HTE) people with HIV (PWH)

Onyema Ogbuagu¹⁾, Sorana Segal-Maure²⁾, Antonella Castagna³⁾, Edwin DeJesus⁴⁾, Anchalee Avihingsanon⁵⁾, Christine Zurawski⁶⁾, Olayemi Osiyemi⁷⁾, Theo Hodge⁸⁾, Gordon E. Crofoot⁹⁾, 白阪琢磨¹⁰⁾, Hui Wang¹¹⁾, Hadas Dvory-Sobol¹¹⁾, Martin S Rhee¹¹⁾, Jared Baeten¹¹⁾, Jean-Michel Molina¹²⁾

- 1) Yale University School of Medicine, New Haven, CT, US
- 2) New York Presbyterian Queens, Flushing, NY, US
- 3) Vita-Salute University, Milan, Italy
- 4) Orlando Immunology Center, Orlando, FL, US
- 5) HIV-NAT, Thai Red Cross AIDS, Bangkok, Thailand
- 6) Atlanta Infectious Disease Group PC, Atlanta, GA, US
- 7) Triple O Research Institute PA, West Palm Beach, FL, US
- 8) Washington Health Institute, Washington, DC, US
- 9) The Crofoot Research Center, Inc., Houston, TX, US
- 10) 国立病院機構大阪医療センター
- 11) Gilead Sciences Inc., Foster city, SF, US
- 12) University of Paris Cite, Hospital Saint Louis, Lariboisiere, France

■日時：12月4日(月) 8:30~9:18

■会場：第5会場(2F ル・ボウ)

O20 (社・S) 陽性者支援

座長 生島 嗣

(ぶれいす東京)

三嶋一輝

(福井大学医学部附属病院)

O20-1 HIV 陽性者のための就職支援セミナーに関する考察

加藤力也¹⁾、大島 岳^{1,2)}、牧原信也¹⁾、生島 嗣¹⁾

- 1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 2) 明治大学

O20-2 コロナ時代に求められる新たなピアサポートに向けた取組み

大島 岳^{1,2)}、加藤力也¹⁾、牧原信也¹⁾、生島 嗣¹⁾

- 1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 2) 明治大学

O20-3 HIV 陽性者におけるうつ傾向に対するスティグマの認知およびソーシャルサポートの関連性

戸ヶ里泰典¹⁾、井上洋士²⁾、高久陽介³⁾、大島 岳⁴⁾、阿部桜子⁵⁾、細川陸也⁶⁾、塩野徳史⁷⁾、米倉佑真⁸⁾、片倉直子⁹⁾、山内麻江¹⁰⁾、井上智史¹⁴⁾、河合 薫¹¹⁾、関由起子¹⁵⁾、若林チヒロ¹²⁾、大木幸子¹³⁾

- 1) 放送大学
- 2) (株) アクセライト
- 3) NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) 明治大学
- 5) (株) TIS
- 6) 京都大学
- 7) 大阪青山大学
- 8) 聖路加国際大学
- 9) 神戸市看護大学
- 10) 順天堂大学
- 11) (株) MHレボリューション
- 12) 埼玉県立大学
- 13) 杏林大学
- 14) 九州大学
- 15) 埼玉大学

O20-4 HIV 陽性者における AIDS 発症に特異的な楽観性

上條禎子^{1,2,3)}、谷内 通²⁾、久保かおり³⁾、渡邊珠代³⁾

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団
- 2) 金沢大学
- 3) 石川県立中央病院

O20-5 MSMを対象にした LASH 調査から HIV 陽性者の性行動と人的なネットワークについての考察

生島 嗣¹⁾、三輪岳史¹⁾、山口正純²⁾、大槻知子¹⁾、樽井正義¹⁾

- 1) ぶれいす東京
- 2) 長寿リハビリセンター病院

O20-6 コロナ禍における外国人の HIV 陽性者とその周囲の人からの相談内容について

牧原信也、生島 嗣、福原寿弥、折茂 淳、村崎美和

特定非営利活動法人ぶれいす東京

■日時：12月4日(月) 8:30~9:18
■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

O21 (臨・C) 症例報告(中枢神経系・悪性腫瘍)

座長 今橋真弓

(名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部)

上村 悠

(国立国際医療研究センター)

O21-1 亜急性期脳梗塞と診断されて経過観察中、理学療法目的の入院時スクリーニングで HIV 陽性となり、発症 2 ヶ月後に進行性多巣性白質脳症の診断に至った一例

高嶋英樹¹⁾、今井三枝子²⁾、阿部公俊³⁾、中尾安秀¹⁾

- 1) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院総合診療科・感染症内科
- 2) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院感染制御部
- 3) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院糖尿病・内分泌代謝内科

O21-2 免疫再構築症候群により急速な経過で死亡に至った HIV 関連進行性多巣性白質脳症の一部例

中村信元¹⁾、手束宏明²⁾、山上圭³⁾、和泉唯信³⁾、西條早希⁴⁾、前田悠作⁴⁾、住谷龍平⁴⁾、大浦雅博⁴⁾、曾我部公子⁴⁾、高橋真美子⁴⁾、藤井志朗⁴⁾、原田武志⁴⁾、三木浩和²⁾

- 1) 徳島大学大学院医歯薬学研究部実践地域診療・医科学分野
- 2) 徳島大学病院卒後臨床研修センター
- 3) 徳島大学病院神経内科
- 4) 徳島大学病院血液内科
- 5) 徳島大学病院輸血・細胞治療部

O21-3 ART 導入後に、経時的な画像経過を追えたトキソプラズマ脳炎の 1 例

阿部静太郎¹⁾、小野村樹²⁾、奥村暢将²⁾、水島大輔¹⁾、照屋勝治¹⁾、湯永博之¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立国際医療研究センター病院国際感染症センター

O21-4 カボジ肉腫の治療中に HHV-8 関連多中心性キャッスルマン病の発症が疑われた一例

國吉健太¹⁾、山城朋子¹⁾、仲村秀太¹⁾、知念重希¹⁾、瀬戸口倫香¹⁾、西山真央¹⁾、新垣若子¹⁾、鍋谷大二郎¹⁾、砂川智恵²⁾、新垣和也²⁾、山本和子¹⁾

- 1) 琉球大学病院感染症・呼吸器・消化器内科学講座
- 2) 琉球大学病院腫瘍病理学講座

O21-5 ART 導入後に化学療法を併用し寛解維持している HIV 関連リンパ増殖性疾患

加藤潤一¹⁾、越智俊元¹⁾、末盛浩一郎¹⁾、乗松真大¹⁾、小西達矢¹⁾、名部彰悟¹⁾、丸田雅樹¹⁾、山之内純¹⁾、高田清式³⁾、竹中克斗¹⁾

- 1) 愛媛大学大学院血液・免疫・感染症内科学
- 2) 愛媛大学医学部附属病院薬剤部
- 3) 愛媛大学医学部附属病院地域医療支援センター

O21-6 長期 ART 内服中にカボジ肉腫を新たに発症した 2 症例の検討

金子 竣¹⁾、原田侑子¹⁾、宮下竜伊¹⁾、山口知子¹⁾、上久保淑子¹⁾、一木昭人¹⁾、近澤悠志¹⁾、備後真登¹⁾、関谷綾子¹⁾、村松 崇¹⁾、四本美保子¹⁾、萩原 剛¹⁾、天野景裕¹⁾、脇本紘子²⁾、原田和俊²⁾、木内 英¹⁾

- 1) 東京医科大学病院臨床検査医学科
- 2) 東京医科大学病院皮膚科

■日時：12月4日(月) 9:30~10:10
■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

O22 (社・S) 政策・医療体制

座長 塩野徳史

(大阪青山大学健康科学部看護学科)

井上洋士

(株式会社アクセライト)

O22-1 エイズ予防指針改正に向けた検討

四本美保子¹⁾、大北全俊²⁾、柏崎正雄³⁾、貞升健志⁴⁾、高久陽介⁴⁾、日高庸晴⁵⁾、平賀紀行⁷⁾、白阪琢磨⁸⁾

- 1) 東京医科大学病院臨床検査医学科
- 2) 東北大学大学院医学系研究科
- 3) 公益財団法人エイズ予防財団
- 4) 東京都健康安全研究センター微生物部
- 5) NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 6) 宝塚大学看護学部
- 7) 神戸マリンナース厚生会病院泌尿器科・麻酔科
- 8) 国立病院機構大阪医療センター

O22-2 公的資金によるエイズ対策研究の実施における研究の企画と評価に関する実践的活動の実際と課題

天野景裕¹⁾、菊池 嘉²⁾、福武勝幸¹⁾

1) 東京医科大学医学部医学科
2) 国立国際医療研究センター病院

O22-3 HIV 感染症患者の高齢化と医療受診行動に関する調査研究

猪狩英俊、谷口俊文、矢幅美鈴、葛田衣重

千葉大学医学部附属病院感染制御部

O22-4 沖縄県における HIV/AIDS 患者及び診療体制調査～コーディネーターの立場から～

新里尚美¹⁾、宮城京子³⁾、前田サオリ³⁾、大田久美子³⁾、上原 仁⁴⁾、諸見牧子⁴⁾、饒平名聖⁵⁾、石郷岡美穂⁵⁾、金城隆展⁷⁾、高江洲壮²⁾、仲村秀太²⁾、山本和子²⁾

1) 琉球大病院第一内科
2) 琉球大学大学院医科学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座
3) 琉球大病院看護部
4) 琉球大病院薬剤部
5) 琉球大病院検査・輸血部
6) 琉球大病院医療福祉センター
7) 琉球大病院地域・国際医療部

O22-5 診療所における HIV 感染症診療の試みー第 16 報

根岸昌功、荒井祐貴子、河野小夜子、西岡春菜

ねぎし内科診療所

■日時：12月4日(月) 9:30~10:10

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

O23 (臨・C) アンコール 2

座長 塚田訓久

(国立病院機構東埼玉病院臨床研究部)

内藤俊夫

(順天堂大学医学部総合診療科学講座)

O23-1 Week(W)-96 results of ALLIANCE, a Phase 3, randomized, double-blind study comparing B/F/TAF versus DTG+F/TDF in treatment-naive people with both HIV-1 and HBV

Anchalee Avihingsanon¹⁾、Hongzhou Lu²⁾、Chee Loon Leong³⁾、Chien-Ching Hung⁴⁾、Ellen Koenig⁵⁾、Sasisopin Kiertiburanakul⁶⁾、Man-Po Lee⁷⁾、Khuanchai Supparatpinyo⁸⁾、Fujie Zhang⁹⁾、Sophia Rahman¹⁰⁾、Michelle L. D'Antoni¹⁰⁾、Hongyuan Wang¹⁰⁾、Jason T. Hindman¹⁰⁾、Hal Martin¹⁰⁾、Yusuke Hirabuki¹¹⁾、Jared M. Baeten¹⁰⁾、Taisheng Li¹²⁾

1) HIV-NAT, Thai Red Cross AIDS Research Centre and Centre of Excellence in Tuberculosis, Faculty of Medicine, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand
2) Shanghai Public Health Clinical Center, Shanghai, China
3) Department of Medicine, Kuala Lumpur General Hospital, Kuala Lumpur, Malaysia
4) National Taiwan University Hospital Yunlin, Yunlin, Taiwan
5) Instituto Dominicano de Estudio Virologicos IDEV, Santo Domingo, Dominican Republic
6) Faculty of Medicine Ramathibodi Hospital, Mahidol University, Bangkok, Thailand
7) Queen Elizabeth Hospital, Kowloon, Hong Kong
8) Chiang Mai University, Chiang Mai, Thailand
9) Beijing Ditan Hospital, Capital Medical University, Beijing, China
10) Gilead Sciences, Inc
11) ギリアド・サイエンス株式会社
12) Peking Union Medical College Hospital, Beijing, China

O23-2 Pharmacokinetics (PK), safety, and efficacy of bictegrovir/emtricitabine/tenofovir alafenamide (BIC/F/TAF) in virologically suppressed pregnant women with HIV

Haeyoung Zhang¹⁾、Hal Martin¹⁾、Ludwig Lin¹⁾、Maggie Davis¹⁾、Hailin Huang¹⁾、Deqing Xiao¹⁾、Priyanka Arora¹⁾、Anchalee Avihingsanon²⁾、Ellen Koenig³⁾、Ramesh Palaparthi¹⁾、Sandhya Girish¹⁾、Yasuko Watanabe⁴⁾、Dhananjay Marathe¹⁾

- 1) Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA
- 2) HIV-NAT, Thai Red Cross AIDS Research Centre and CE of Tuberculosis, Faculty of Medicine Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand
- 3) Dominican Institute of Virological Studies (DEV), Santiago, Dominican Republic
- 4) ギリアド・サイエンス株式会社

O23-3 Tenofovir alafenamide (TAF) ベースレジメンから dolutegravir/lamivudine (DTG/3TC) への切り替え試験 (TANGO 試験) 196 週におけるウイルス学的抑制効果サブグループ解析

谷口俊文¹⁾、Don E. Smith²⁾、Jean-Pierre Routy³⁾、Stefan Scholten⁴⁾、Julian Olalla Sierra⁵⁾、Mounir Ait-Khaled⁶⁾、Ruolan Wang⁷⁾、Parminder Saggu⁸⁾、Riya Moodley⁶⁾、Bryn Jones⁶⁾

- 1) 千葉大学医学部附属病院
- 2) Albion Centre, Australia
- 3) McGill University Health Centre, Canada
- 4) Praxis Hohenstaufenring, Germany
- 5) Hospital Costa del Sol, Spain
- 6) ViiV Healthcare, UK
- 7) ViiV Healthcare, USA
- 8) GSK, UK

O23-4 リアルワールドにおいて第 III 相試験の組み入れ基準から外れる HIV 感染患者へ dolutegravir 及び lamivudine を投与した臨床報告の systematic literature review

黒崎英志¹⁾、Jihad Slim²⁾、Douglas Ward³⁾、Stefan Schneider⁴⁾、Madhusudan Kabra⁵⁾、Gustavo Verdier⁶⁾、Bryn Jones⁵⁾、Emilio Letang⁷⁾

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社
- 2) New York Medical College, USA
- 3) Dupont Circle Physicians Group, USA
- 4) Long Beach Education and Research Consultants, USA
- 5) ViiV Healthcare, UK
- 6) ViiV Healthcare, Canada
- 7) ViiV Healthcare, Spain

O23-5 ベースライン (BL) 高ウイルス量 (VL) の ART 未治療成人 PLWH における DTG/3TC の高い有効性: GEMINI-1/-2 試験および STAT 試験 48 週サブグループ解析

小塚孝司¹⁾、Charlotte-Paige Rolle²⁾、Jose R. Arribas³⁾、Roberto Ortiz⁴⁾、Jessica Matthews⁵⁾、Choy Man⁶⁾、Richard Grove⁶⁾、Cynthia Donovan⁵⁾、Brian Wynne⁵⁾、Michelle Kisare⁷⁾、Bryn Jones⁷⁾

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社
- 2) Orlando Immunology Center, USA
- 3) Hospital Universitario La Paz, Spain
- 4) Bliss Healthcare Services, USA
- 5) ViiV Healthcare, USA
- 6) GSK, UK
- 7) ViiV Healthcare, UK

一般演題 (口演)

■日時：12月4日(月) 13:15~13:47

■会場：第5会場(2F ル・ボワ)

O24 (社・S) 教育

座長 大野聖子

(京都第一赤十字病院感染制御部)

山中京子

(コラボレーション実践研究所)

O24-1 HIVに関するコメディカル向け研修の意識調査(第1報)一研修の効果と展望について

金井講治^{1,2)}、長瀬亜岐³⁾、平川夏帆⁴⁾、池田 学²⁾

- 1) 大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター
- 2) 大阪大学大学院医学系研究科精神医学
- 3) おひさまクリニック西宮
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント

O24-2 HIVに関するコメディカル向け研修の意識調査(第2報)一参加者のHIVに対する自覚的な知識やスティグマについて

平川夏帆¹⁾、金井講治^{2,3)}、長瀬亜岐⁴⁾、池田 学²⁾

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント
- 2) 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室
- 3) 大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター
- 4) おひさまクリニック西宮

O24-3 HIV医学教育プログラムの開発と評価

渡部健二¹⁾、河盛 段¹⁾、高橋 剛¹⁾、佐田遼太¹⁾、白阪琢磨²⁾

- 1) 大阪大学医学部医学科教育センター
- 2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

O24-4 iPhone用アプリを用いた性感染症予防の試み

福島真一、鈴木麻衣、森 博威、内藤俊夫

順天堂大学医学部総合診療科学講座

■日時：12月4日(月) 13:15~14:03

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

O25 (基・B) 薬剤耐性(基礎)/分子疫学

座長 菊地 正

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

大出裕高

(国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部)

O25-1 国内HIV-1伝播クラスター動向(SPHNCs分析)年報—2022年

椎野禎一郎^{1,2)}、大谷眞智子²⁾、中村麻子³⁾、南 留美⁴⁾、今橋真弓⁵⁾、吉村和久⁶⁾、杉浦 互¹⁾、菊地 正²⁾

- 1) 国立国際医療研究センター・臨床研究センター
- 2) 国立感染症研究所・エイズ研究センター
- 3) 福岡県保健環境研究所・保健科学部ウイルス課
- 4) 国立病院機構九州医療センター
- 5) 国立病院機構名古屋医療センター
- 6) 東京都健康安全研究センター

O25-2 ナノポアシーケンスを利用した宿主内HIV-1のゲノム配列多様性解析

大出裕高¹⁾、松田昌和¹⁾、重見 麗¹⁾、山村喜美¹⁾、森美喜子¹⁾、今橋真弓¹⁾、横幕能行¹⁾、岩谷靖雅^{1,2)}

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部
- 2) 名古屋大学大学院医学系研究科免疫不全統御学講座

O25-3 ISOLATION OF RESISTANT MUTANTS AGAINST LENACAPAVIR USING THE CAPSID LIBRARY SYSTEM

ANDREWS WRIGHT OFOTSU AMESIMEKU, JOYCE APPIAH-KUBI, PERPETUAL NYAME, JAKIR HOSSAIN, NAMI MONDE, HIROMI TERASAWA, TOMOHIRO SAWA, YOSUKE MAEDA, KAZUAKI MONDE

DEPARTMENT OF MICROBIOLOGY, GRADUATE SCHOOL OF MEDICAL SCIENCES, KUMAMOTO UNIVERSITY.

O25-4 ナノアシーケンスによる HIV-1 RNA ゲノムの近全長配列解析と薬剤耐性遺伝子検査への応用

松田昌和¹⁾、大出裕高¹⁾、重見 麗¹⁾、
山村喜美¹⁾、森美喜子¹⁾、今橋真弓¹⁾、
横幕能行¹⁾、岩谷靖雅^{1,2)}

1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部
2) 名古屋大学大学院医学系研究科免疫不全統御学講座

O25-5 新規組換え体 HIV-1 である CRF139_02 B の発見とその分子疫学的解析

林田庸総、土屋亮人、岡 慎一、瀧永博之

国立国際医療研究センター

O25-6 東海地域において検出された Unique recombinant forms (URFs) 症例の分子疫学的解析と考察

重見 麗¹⁾、山村喜美¹⁾、松田昌和¹⁾、
大出裕高¹⁾、森美喜子¹⁾、笠原高翔¹⁾、
今橋真弓¹⁾、横幕能行¹⁾、岩谷靖雅^{1,2)}

1) 独) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
2) 名古屋大学大学院医学系研究科

■日時：12月4日(月) 13:15~14:03

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

O26 (臨・C) 抗 HIV 療法 5

座長 白川康太郎

(京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学)

合原嘉寿

(国立病院機構九州医療センター薬剤部)

O26-1 抗 HIV 持続性注射剤導入における薬剤師の取り組み

青嶋瑞樹¹⁾、久保田早苗¹⁾、鈴木麻衣²⁾、
馬場喜弓¹⁾、木村利美¹⁾、内藤俊夫²⁾

1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部
2) 順天堂大学医学部総合診療科学講座

O26-2 抗レトロウイルス療法の経口薬から長時間作用型注射剤への変更例の検討

小西啓司^{1,2)}、笠松 悠¹⁾、白野倫徳¹⁾、
森田優香²⁾、大久保萌香²⁾、小野塚大介³⁾、
忽那賢志³⁾

1) 大阪市立総合医療センター感染症内科
2) 大阪市立総合医療センター薬剤部
3) 大阪大学医学部附属病院感染制御部

O26-3 当院における抗 HIV 薬を内服薬から持続性注射剤に変更した患者の反応について

上山美香、中澤光子、中川沙織、
織田ひとみ、千葉陽子、中村智子、
結城佳代子、砂田純子、安齋英里、
大谷天人、齋藤 真、古賀道子、
安達英輔、四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院

O26-4 HIV 治療薬の長時間作用型注射薬を導入した患者の思い

杉山仁美¹⁾、田中利江子¹⁾、臼井依都子¹⁾、
石原正志²⁾、鶴見 寿^{3,4)}、手塚宜行²⁾、
生駒良和²⁾

1) 岐阜大学医学部附属病院看護部
2) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
3) 岐阜大学医学部附属病院血液内科
4) 松波総合病院血液内科
5) 岐阜大学医学部附属病院感染症寄附講座

O26-5 持続性注射剤治療導入に向けた取り組み—注射剤治療運用マニュアルとフローチャートの作成—

久保田早苗¹⁾、鈴木麻衣²⁾、青嶋瑞樹¹⁾、
金澤晶雄²⁾、青木のぞみ²⁾、馬場喜弓¹⁾、
福井由希子²⁾、内藤俊夫²⁾

1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部
2) 順天堂大学医学部総合診療科学講座

O26-6 経口内服から持続性注射剤カボテグラビル+リルビピリンに ART を変更した患者の心理的变化

前田サオリ¹⁾、宮城京子¹⁾、仲村秀太²⁾、
石郷岡美穂³⁾、上原 仁⁴⁾、大田久美子⁴⁾、
辺士名優美子⁵⁾、饒平名聖⁶⁾

1) 琉球大学病院看護部
2) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科
3) 琉球大学病院医療福祉センター
4) 琉球大学病院薬剤部
5) 沖縄県公認心理師協会 HIV 派遣カウンセラー
6) 琉球大学病院検査部

■日時：12月4日(月) 14:10~14:42

■会場：第5会場(2F ル・ボウ)

O27 (社・S) カウンセリング 1

座長 喜花伸子

(広島大学病院輸血部・エイズ医療対策室)

安尾利彦

(国立病院機構大阪医療センター臨床心理学)

O27-1 HIV 領域の心理職と精神科医の連携の現状と課題に関する研究

安尾利彦^{1,2)}、木村宏之³⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理学
- 2) 国立病院機構大阪医療センターHIV/AIDS先端医療開発センター
- 3) 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

O27-2 HIV 感染症患者の長期療養における心理社会的課題とその支援に関する後方視的調査

渡邊未来¹⁾、葛田衣重¹⁾、新津富央²⁾、猪狩英俊¹⁾

- 1) 千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科
- 2) 千葉大学大学院医学研究院精神医学

O27-3 マイノリティストレスが HIV 陽性者の治療意欲に及ぼす影響—カウンセラーの視点から—

飯田昌子¹⁾、長浦由紀²⁾、関口 愛³⁾、曾我真千恵⁴⁾

- 1) 鹿児島大学法文教育学域法文学系
- 2) 長崎大学生命医科学域
- 3) 大分大学医学部臨床薬理講座
- 4) 国立病院機構九州医療センターHIV/AIDS治療センター

O27-4 高齢 HIV 感染症患者の長期療養体制における臨床心理的支援に関する調査研究—第一報—

渡邊未来¹⁾、葛田衣重¹⁾、田代 萌¹⁾、伊藤菜穂子¹⁾、新津富央²⁾、猪狩英俊¹⁾

- 1) 千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科
- 2) 千葉大学大学院医学研究院精神医学

■日時：12月4日(月) 14:10~14:42

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

O28 (基・B) 新薬開発/宿主因子/その他

座長 宮内浩典

(国立感染症研究所)

藤田美歌子

(熊本大学大学院生命科学研究所サイエンスファーム生体機能化学共同研究講座)

O28-1 抗ウイルス宿主因子 APOBEC3G 分解抑制化合物の探索

新垣唯一¹⁾、加茂真宏¹⁾、伊藤見宇¹⁾、ラドワンモハメドオスマン¹⁾、大塚雅巳^{1,2)}、立石 大¹⁾、高折晃史³⁾、藤田美歌子¹⁾

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究所サイエンスファーム生体機能化学共同研究講座
- 2) サイエンスファーム株式会社
- 3) 京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学

O28-2 A derivative compound, HT-7 inhibits HIV-1 release by inducing BST2/tetherin on the cell surface

PERPETUAL NYAME¹⁾、Akihiro Togami²⁾、Tomofumi Yoshida¹⁾、Takuya Masunaga²⁾、Hiromi Terasawa¹⁾、Nami Monde¹⁾、Yurika Tahara²⁾、Tomohiro Sawa¹⁾、Yorifumi Satou³⁾、Mikako Fujita²⁾、Yosuke Maeda¹⁾、Hiroshi Tateishi²⁾、Kazuaki Monde¹⁾

- 1) DEPARTMENT OF MICROBIOLOGY, GRADUATE SCHOOL OF MEDICAL SCIENCES, KUMAMOTO UNIVERSITY
- 2) Medical and Biological Chemistry Science Farm Joint Research Laboratory, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University
- 3) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

O28-3 1,3,4-oxadiazole 環を有する Raltegravir は強酸性下で加水分解され、抗 HIV 活性が低下する

中村朋文^{1,2)}、奥村真由¹⁾、高宗暢暁³⁾、弘津辰徳⁴⁾、杉浦正晴⁵⁾、安永純一郎¹⁾、中田浩智¹⁾

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究所・血液・膠原病・感染症内科
- 2) 熊本大学病院中央検査部
- 3) 熊本大学熊本創世推進機構
- 4) 株式会社サイティン
- 5) 崇城大学薬学部薬学科

O28-4 インテグラーゼ阻害薬とミネラルウォーターとの相互作用に関する研究

安岡紀登¹⁾、古屋貴人¹⁾、増田純一¹⁾、土屋亮人²⁾、西村富啓¹⁾、湯永博之²⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

■日時：12月4日(月) 14:10~14:58

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

O29 (臨・C) 抗HIV療法6

座長 矢倉裕輝

(国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部)

今村淳治

(国立病院機構仙台医療センター感染症内科)

O29-1 非結核菌抗酸菌症を発症したHIV感染症患者にドルテグラビル/ラミブジンとリファブチンを併用し、血中濃度測定を活用して治療を継続した1例

野村直幸^{1,2)}、河野泰宏^{1,2)}、安岡悠典^{1,2)}、野田綾香^{1,2)}、高田 遼¹⁾、中村 葵²⁾、藤原千尋²⁾、飯塚咲子²⁾、木梨貴博²⁾、片山智之²⁾、門田悦子²⁾、宮内浩希²⁾、高橋洋子¹⁾、田村浩二¹⁾、齋藤誠司^{2,3)}、坂田達朗^{2,4)}

- 1) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター薬剤部
- 2) 独立行政法人国立病院機構福山医療センターエイズ治療センター
- 3) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター感染症内科
- 4) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター肝臓内科

O29-2 組織球性壊死性リンパ節炎に一致する病理所見を呈したアバカビル過敏症の1例

富永晃輝¹⁾、福島一彰¹⁾、滝澤あゆみ²⁾、鄭 瑞雄¹⁾、田中 勝¹⁾、味澤 篤¹⁾、今村顕史¹⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院総合診療科

O29-3 持続経管栄養投与によりピクテグラビルの吸収障害が起きた1例

古屋貴人¹⁾、増田純一¹⁾、安藤尚克²⁾、小泉吉輝²⁾、土屋亮人²⁾、西村富啓¹⁾、湯永博之²⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

O29-4 アルコール性肝炎に伴う大球性貧血・皮膚粘膜障害の治療中に著明なウイルス量増加を認め薬物相互作用が疑われた1例

清水真澄¹⁾、松井昂介²⁾、有吉紅也^{1,3)}

- 1) 長崎大学病院感染症内科
- 2) 福岡徳洲会病院救急科
- 3) 長崎大学熱帯医学研究所臨床感染症学分野

O29-5 BIC/TAF/FTC服用中の非糖尿病HIV患者が減量目的で服用したメトホルミンにより乳酸アシドーシスを来しメトホルミンの血中濃度が高値を示した1例

大谷真理子^{1,2)}、横尾卓也^{1,2)}、佐藤高広^{2,3)}、前田 正^{2,3)}、平山 忍^{1,2)}、草野 歩¹⁾、坂本真紀^{1,2)}、宮崎泰斗^{1,3)}、吉澤定子^{4,5)}、館田一博^{2,4,5)}、松本高広¹⁾

- 1) 東邦大学医療センター大森病院薬剤部
- 2) 東邦大学医療センター大森病院感染管理部
- 3) 東邦大学医療センター大森病院総合診療・急病センター
- 4) 東邦大学医療センター大森病院臨床検査部
- 5) 東邦大学医学部微生物・感染症学講座

O29-6 食道胃接合部癌術後に食道狭窄を繰り返す症例に対して持続性注射薬カボテグラビル+リルビリン(CAB+RPV)を導入した1例

田澤佑基^{1,2)}、遠藤知之^{2,3)}、武隈 洋¹⁾、菅原 満^{1,4)}

- 1) 北海道大学病院薬剤部
- 2) 北海道大学病院HIV診療支援センター
- 3) 北海道大学病院血液内科
- 4) 北海道大学大学院薬学研究科

■日時：12月4日(月) 15:10~15:42

■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

O30 (社・S) カウンセリング2

座長 山中京子

(コラボレーション実践研究所)

宮本哲雄

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター臨床心理室)

O30-1 HIV陽性者の受診行動とその心理的背景に関する研究

神野未佳¹⁾、安尾利彦^{1,2)}、西川歩美²⁾、森田真子²⁾、富田朋子²⁾、宮本哲雄²⁾、水木 薫²⁾、牧 寛子²⁾、渡邊 大¹⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター
- 2) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室

O30-2 HIV 陽性者の精神科受診およびカウンセリング利用に関する研究

西川歩美¹⁾、安尾利彦¹⁾、神野未佳¹⁾、森田眞子¹⁾、富田朋子¹⁾、宮本哲雄¹⁾、水木 薫¹⁾、牧 寛子¹⁾、白坂琢磨²⁾

- 1) 大阪医療センター-臨床心理学
- 2) 大阪医療センターHIV/AIDS先端医療開発センター

O30-3 看護師の同席がカウンセリングの導入に与える影響—心理士交代後の初回面談に着目して—

猪俣明子¹⁾、中川雄真²⁾、須佐佳苗¹⁾、柴田 怜¹⁾、茂呂 寛¹⁾

- 1) 新潟大学歯学総合病院感染管理部
- 2) 常葉大学教育学部心理教育学科

O30-4 当院における新規通院 HIV 感染者の心理アセスメントに関する実態調査

大友 健¹⁾、木村聡太¹⁾、小松賢亮²⁾、加藤 温³⁾、照屋勝治¹⁾、湯永博之¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 2) 和光大学現代人間学部
- 3) 国際医療研究センター病院精神科

O31-3 エイズ文化フォーラム「ウイルス母子感染！～正しく知って正しく防ごう～」におけるアンケート解析

鈴木ひとみ^{1,2)}、高野政治^{3,3)}、羽柴知恵子²⁾、渡邊英恵²⁾、出口雅士²⁾、長與由紀子²⁾、横瀬紀子²⁾、榎本美喜子^{2,4)}、藤田 綾^{2,4)}、吉野直人²⁾、高橋尚子²⁾、杉浦 敦²⁾、田中瑞恵²⁾、北島浩二²⁾、山田里佳²⁾、蓮尾泰之²⁾、林 公一²⁾、外川正生²⁾、佐久本薫²⁾、喜多恒和^{2,4)}

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班
- 3) 防衛医科大学校病院産科婦人科
- 4) 奈良県総合医療センター

O31-4 「英語圏以外の外国人 HIV 患者が診療を受ける上で、日本語が不自由なことににより抱える困難感」～医療通訳介入に向けて～

宮越郁子、稗田広美、杉山ひかる
北海道公立大学法人札幌医科大学附属病院

■日時：12月4日(月) 15:10～15:58

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

O31 (臨・C) 歯科・外国人・その他

座長 有家 巧

(国立病院機構大阪医療センター口腔外科)

白野倫徳

(大阪市立総合医療センター感染症内科)

O31-1 歯科医院において HIV 陽性者診療時に発生した経皮的曝露に関する考察

宇佐美雄司¹⁾、小田知生¹⁾、横幕能行²⁾

- 1) 名古屋医療センター-歯科口腔外科
- 2) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター

O31-2 HIV の歯科診療しながら、地域で LGBT の方と共に取り組みをしています

渡邊充春^{1,2)}

- 1) わたなべ往診歯科
- 2) 歯科保健研究会

O31-5 JICA 草の根支援事業としての神奈川県歯科医師会のホーチミン市における HIV/AIDS 患者の歯科診療体制構築事業について (第三報)

鈴木信治¹⁾、池田正一²⁾、池野 良¹⁾、柿沼章子³⁾、泉福英信⁴⁾、中川裕美子^{5,6)}、中澤よう子^{7,8)}、吉村幸浩⁹⁾

- 1) 神奈川県歯科医師会
- 2) 神奈川県歯科大学
- 3) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 4) 日本大学松戸歯学部
- 5) 大手前短期大学歯科衛生学科
- 6) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 7) 神奈川県予防医学協会
- 8) ぶれいす東京
- 9) 横浜市立市民病院

O31-6 治療中に来日した技能実習生に対する ART 継続方

土谷良樹
東京勤労者医療会東葛病院総合診療科

■日時：12月4日(月) 15:10~15:58

■会場：第7会場(1F ラシゴーニユ)

O32 (臨・C) 抗HIV療法7

座長 関根祐介

(東京医科大学病院薬剤部)

迫田直樹

(法門坂メディカル株式会社法門坂薬局)

O32-1 抗HIV療法と服薬援助のための基礎的調査—治療開始時の抗HIV薬処方動向調査(2023年)

澤田暁宏¹⁾、関根祐介²⁾、増田純一³⁾、小島賢一⁴⁾

- 1) 兵庫医科大学呼吸器・血液内科
- 2) 東京医科大学病院薬剤部
- 3) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 4) 狹達病院血液凝固科

O32-2 処方日数から推定される抗HIV薬アドヒアランスと残薬数の検討

池内和彦¹⁾、大谷天人¹⁾、齋藤真¹⁾、古賀道子¹⁾、安達英輔¹⁾、横田舞²⁾、峰岸園恵²⁾、黒田誠一郎²⁾、堤武也¹⁾、四柳宏¹⁾

- 1) 東京大学医学研究所附属病院感染症内科
- 2) 東京大学医学研究所附属病院薬剤部

O32-3 抗HIV薬服用患者における保険薬局との関わり

安田明子¹⁾、渡邊珠代²⁾

- 1) 石川県立中央病院薬剤部
- 2) 石川県立中央病院免疫感染症科

O32-4 抗HIV薬処方に対する病院-保険薬局薬剤師の連携体制に関する横断研究

築地茉莉子¹⁾、鈴木貴明¹⁾、菅谷修平¹⁾、猪狩英俊²⁾、石井伊都子¹⁾

- 1) 千葉大学医学部附属病院薬剤部
- 2) 千葉大学医学部附属病院感染症内科

O32-5 薬薬連携から抗HIV薬との薬物相互作用に介入した3症例

野田綾香^{1,2)}、野村直幸^{1,2)}、河野泰宏^{1,2)}、安岡悠然^{1,2)}、高田遼¹⁾、高橋洋子¹⁾、田村浩二¹⁾、中村葵²⁾、片山智之²⁾、宮内浩希²⁾、飯塚暁子²⁾、木梨貴博²⁾、藤原千尋²⁾、門田悦子²⁾、齋藤誠司²⁾、坂田達朗²⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター薬剤部
- 2) 独立行政法人国立病院機構福山医療センターエイズ治療センター

O32-6 保険薬局におけるオンライン服薬指導の活用

迫田直樹¹⁾、宮本愛梨沙²⁾、尾形奈美³⁾、中村美紀³⁾、堅田陽介⁴⁾

- 1) 法門坂メディカル株式会社法門坂薬局
- 2) 都島センター薬局
- 3) きらめき薬局
- 4) 法門坂メディカル株式会社

■日時：12月4日(月) 16:10~16:58

■会場：第5会場(2F ル・ボワ)

O33 (社・S) 検査・相談体制

座長 本間隆之

(山梨県立大学看護学部)

佐野貴子

(神奈川県衛生研究所微生物部)

O33-1 東京都内公的検査機関でのHIV検査におけるHIV-1陽性例を用いた分子生物学的解析

河上麻美代¹⁾、北村有里恵¹⁾、伊藤仁¹⁾、黒木絢士郎¹⁾、小泉美優¹⁾、藤原卓士¹⁾、椎野慎一郎²⁾、菊地正³⁾、長島真美¹⁾、貞升健志¹⁾、吉村和久¹⁾

- 1) 東京都健康安全研究センター
- 2) 国立国際医療研究センター臨床研究センター
- 3) 国立感染症研究所エイズ研究センター

O33-2 HIV郵送検査に関する実態調査(2022)

須藤弘二¹⁾、佐野貴子²⁾、近藤真規子¹⁾、今井光信³⁾、今村顕史⁴⁾、加藤真吾¹⁾

- 1) 株式会社ハナ・メディテック
- 2) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 3) 田園調布学園大学
- 4) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

O33-3 民間臨床検査センターにおけるHIV検査等の実施状況および確認IC法検査試薬導入に関する調査

佐野貴子¹⁾、近藤真規子²⁾、須藤弘二²⁾、櫻木淳一¹⁾、今井光信³⁾、加藤真吾²⁾、今村顕史⁴⁾

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 2) 株式会社ハナ・メディテック
- 3) 田園調布学園大学
- 4) 東京都立駒込病院感染症科

O33-4 MSMにおけるHIV検査の選好に関する コンジョイント分析を用いた検討

本間隆之¹⁾、岩橋恒太²⁾、今村顕史³⁾

- 1) 山梨県立大学看護学部
- 2) NPO法人akta
- 3) 東京都立駒込病院

O33-5 検査会社からの紹介で治療を開始した1 例

坂部茂俊¹⁾、田中宏幸¹⁾、中西雄紀¹⁾、
豊嶋弘一¹⁾、藤井典善²⁾、服部公紀³⁾、
森尾志保⁴⁾

- 1) 伊勢赤十字病院感染症内科
- 2) 伊勢赤十字病院医療社会事業部
- 3) 伊勢赤十字病院薬剤部
- 4) 伊勢赤十字病院看護部

O33-6 クリニックにおけるMSM向けHIV・性 感染症検査キャンペーン(2022年度実 績報告)

阪野文哉¹⁾、川畑拓也¹⁾、浜みなみ¹⁾、
渡邊 大²⁾、塩野徳史³⁾、西田明子⁴⁾、
朝来駿一⁵⁾、青木理恵子⁶⁾、澤田暁宏⁷⁾、
西岡弘晶⁸⁾、荒川創一⁹⁾、大森亮介¹⁰⁾、
駒野 淳¹¹⁾、森 治代¹⁾、本村和嗣¹⁾

- 1) (地独) 大阪健康安全基盤研究所
- 2) 国立病院機構大阪医療センター
- 3) MASH大阪/大阪青山大学
- 4) 大阪府健康医療部保健医療室感染症対策課
- 5) ふれんどりーKOBÉ
- 6) 特定非営利活動法人CHARM
- 7) 兵庫医科大学
- 8) 神戸市立医療センター中央市民病院
- 9) 三田市民病院
- 10) 北海道大学
- 11) 大阪医科薬科大学

■日時：12月4日(月) 16:10~16:58

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

O34 (臨・C) 薬害・患者支援

座長 藤井輝久

(広島大学病院輸血部・エイズ医療対策室)

羽柴知恵子

(名古屋医療センター)

O34-1 HIV感染血友病患者に対するメタボリック クシンドロームの判定評価と運動・食習 慣に関する支援の一考察

佐藤愛美^{1,2)}、大金美和¹⁾、田沼順子¹⁾、
野崎宏枝¹⁾、鈴木ひとみ¹⁾、大杉福子¹⁾、
谷口 紅¹⁾、杉野祐子¹⁾、木村聡太¹⁾、
池田和子¹⁾、上村 悠¹⁾、中本貴人¹⁾、
渡辺恒二¹⁾、照屋勝治¹⁾、湯永博之¹⁾

- 1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント

O34-2 薬害被害者が悪性腫瘍に罹患した際の心理 的支援についてのアンケート調査

福田あかり¹⁾、古賀道子^{1,2)}、田中貴大³⁾、
石坂 彩¹⁾、保坂 隆^{2,3)}、四柳 宏^{1,2)}

- 1) 東京大学医学科学研究所先端医療研究センター感染症分野
- 2) 東京大学医学科学研究所附属病院感染免疫内科
- 3) 保坂サイコソングコロジ・クリニック

O34-3 首都圏におけるHIV診療拠点病院のサス テナブル(持続可能)なHIV看護の検討~ HIV感染症看護師相互交流シンポジウム 2022~首都圏編~アンケート調査よ り~

松山奈央¹⁾、戸崎祐子²⁾、岡村美里³⁾、
関矢早苗⁴⁾、小林あずさ⁴⁾、古谷佳苗⁵⁾、
山口睦美⁶⁾、堤 徳正⁷⁾、杉野祐子⁸⁾、
池田和子⁸⁾、横幕能行⁹⁾

- 1) 横浜市立大学附属病院
- 2) 慶応義塾大学病院
- 3) 東京慈恵会医科大学附属病院
- 4) がん・感染症センター都立駒込病院
- 5) 千葉大学医学部附属病院
- 6) NHO東埼玉病院
- 7) 筑波大学附属病院
- 8) 国立国際医療研究センター病院
- 9) NHO名古屋医療センター

O34-4 軽度発達障害があるHIV陽性患者への就 労支援

石井智美、車 陽子、渡邊珠代

石川県立中央病院

O34-5 HIV 感染者の療養支援—患者情報収集シートを使用して看護面談・カンファレンス実施を試みて—

南村 茜、岡本由佳里、七條明代、中村明世、堀 令子

奈良県立医科大学附属病院看護部

O34-6 HIV 感染者における脂質異常の改善に向けた食事・身体活動介入プログラムに関する文献検討

青盛真紀^{1,2)}、松本智晴³⁾、前田ひとみ³⁾

- 1) 前) 熊本大学大学院保健学教育部博士後期課程看護学専攻
- 2) 横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻感染看護学分野
- 3) 熊本大学大学院生命科学部研究部環境社会医学部門看護学講座

■日時：12月4日(月) 16:10~16:58

■会場：第7会場(1F ラシゴーニユ)

O35 (臨・C) 抗 HIV 療法 8

座長 高濱宗一郎

(国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科)

小西啓司

(大阪大学医学部附属病院感染制御部/感染症内科)

O35-4 抗レトロウイルス療法の年次推移と2剤治療導入に関する調査

横尾卓也¹⁾、花井雄貴²⁾、松尾和廣²⁾、植草秀介²⁾、平山 忍¹⁾、大谷真理子¹⁾、河原理紗¹⁾、草野 歩¹⁾、坂本真紀¹⁾、松本高広¹⁾

- 1) 東邦大学医療センター大森病院薬剤部
- 2) 東邦大学薬学部臨床薬学研究室

O35-5 当院におけるドルテグラビル・ラミブジン (DTG/3TC) の使用状況について

池谷健一¹⁾、関根祐介¹⁾、古屋裕理¹⁾、竹内裕紀¹⁾、天野景裕²⁾、四本美保子²⁾、萩原 剛²⁾、村松 崇²⁾、備後真登²⁾、近澤悠志²⁾、関谷綾子²⁾、中村 造³⁾、渡邊秀裕³⁾、木内 英²⁾

- 1) 東京医科大学病院薬剤部
- 2) 東京医科大学病院臨床検査医学科
- 3) 東京医科大学病院感染症科

O35-6 既存抗 HIV 薬からカボテグラビル/リルピリン併用療法に変更後の腎機能マーカーの変化について

大谷天人、安達英輔、齋藤 真、古賀道子、四柳 宏

東京大学医学部研究所附属病院感染免疫内科

■日時：12月5日(火) 9:00~9:32

■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

O36 (社・S) 薬害 1

座長 若生治友

(特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権)

大北全俊

(東北大学大学院医学系研究科)

O35-1 2剤療法施行中の HIV 陽性者における Blip および TND (Target Not Detected) 維持率の検討

遠藤知之^{1,2)}、後藤秀樹^{1,2)}、松川敏大^{1,2)}、荒 隆英^{1,2)}、長谷川祐太^{1,2)}、須藤啓斗^{1,3)}、宮島 徹^{1,3)}、長井 惇^{1,3)}、豊嶋崇徳^{1,2)}

- 1) 北海道大学病院血液内科
- 2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
- 3) エイズ予防財団

O35-2 HIV 未治療患者におけるドルテグラビル/ラミブジン導入の2年の経過

遠藤愛樹、石部大紀、金 永進、松本香織、小林義文

山梨県立中央病院薬剤部

O35-3 当院における DTG+3TC (DTG/3TC) への切り替え後の有効性および安全性についての検討

新井 優¹⁾、金子真依¹⁾、小林美穂¹⁾、林田沙綾¹⁾、長澤苑子¹⁾、眞壁秀樹¹⁾、戸叶美枝子²⁾、今井一男²⁾、樽本惠人²⁾

- 1) 埼玉医科大学病院薬剤部
- 2) 埼玉医科大学病院感染症科・感染制御科

O36-1 血液製剤による HIV 感染者の調査成績第2報 日常生活の影響と主観的健康の検討

川戸美由紀¹⁾、三重野牧子²⁾、橋本修二¹⁾、天野景裕³⁾、大金美和⁴⁾、岡 慎一⁴⁾、岡本 学⁵⁾、湯永博⁴⁾、日笠 聡⁶⁾、八橋 弘⁷⁾、白飯琢磨⁵⁾

- 1) 藤田医科大学
- 2) 自治医科大学
- 3) 東京医科大学
- 4) 国立国際医療研究センター
- 5) 国立病院機構大阪医療センター
- 6) 兵庫医科大学病院
- 7) 国立病院機構長崎医療センター

O36-2 薬害 HIV 感染被害患者における長期療養への支援提言(第 14 報)～地方在住患者に対する対面形式の個別支援の有効性に関する事例報告

岩野友里、柿沼章子、久地井寿哉、
武田飛呂城

社会福祉法人はばたき福祉事業団

O36-3 遺族健診受診支援事業からみる遺族健診受検者の現状と課題

木村聡太、野崎宏枝、鈴木ひとみ、
大金美和、上村 悠、田沼順子、
大友 健、照屋勝治、瀧永博之

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究センター

O36-4 HIV/AIDS のスティグマによるコミュニケーションの困難を乗り越えるー薬害 HIV 感染被害者である早坂典生氏の生活史からー

早坂典生¹⁾、入江惠子²⁾、橋本 謙³⁾、
種田博之⁴⁾、小川良子⁵⁾、宮本哲雄⁶⁾、
山田富秋⁷⁾

- 1) 特定非営利活動法人りょうちゃんず
- 2) 北九州市立大学
- 3) 岐阜県スクールカウンセラー
- 4) 産業医科大学
- 5) 本永病院
- 6) 国立病院機構大阪医療センター
- 7) 松山大学

■日時：12月5日(火) 9:00~9:48

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

**O37 (基・B) 病原性・病態/免疫・ワクチン/
動物モデル**

座長 近田貴敬

(熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

久世 望

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

O37-1 HIV 感染者に対する SARS-CoV-2 ワクチンの追加接種後の長期的な液性免疫及び細胞性免疫応答の検討

松本佑慈、村田昌之、下野行信

九州大学病院総合診療科

O37-2 長期多剤併用療法が HIV-1 特異的 CD8 陽性 T 細胞の誘導と維持に及ぼすエピソード依存的効果

久世 望^{1,2)}、瀧永博之³⁾、Zhang Yu²⁾、
近田貴敬²⁾、岡 慎一³⁾、滝口雅文²⁾

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター

O37-3 HIV 感染者における腸内細菌叢の時間変化と体重増加の関係

石坂 彩¹⁾、古賀道子¹⁾、水谷壮利²⁾、
四柳 宏^{1,3)}

- 1) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野
- 2) 東京大学大学院新領域創成科学研究科
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

O37-4 早期抗 HIV-1 中和抗体治療を受けた SHIV 感染アカゲザルにおける長期ウイルス抑制下での血中リザーバー細胞の長期的推移および細胞性免疫誘導機序の解析

西村佳哲、Olivia Donau、
Eric Jesteadt、Malcolm Martin

Laboratory of Molecular Microbiology, National Institute of Allergy and Infectious Diseases, National Institutes of Health

O37-5 サル免疫系細胞を持つマウスの SIV 感染病態の検討

佐藤瑠奈¹⁾、西本佳那子¹⁾、阪脇廣美²⁾、
三浦智行²⁾、伊吹謙太郎¹⁾

- 1) 京都大学医学研究科人間健康科学系専攻
- 2) 京都大学医学生物学研究所

O37-6 サルに適応した CCR5 指向性コンセンサスクローン SHIV-MK38C の CD4 mimic に対する感受性

松浦嘉奈子¹⁾、山浦瑞樹¹⁾、阪脇廣美¹⁾、
姫野 愛¹⁾、Yalcin Pibil¹⁾、小早川拓也²⁾、
辻 耕平²⁾、玉村啓和²⁾、松下修三³⁾、
三浦智行¹⁾

- 1) 京都大学医学生物学研究所
- 2) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所
- 3) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

■日時：12月5日(火) 9:00~9:48

■会場：第7会場(1F ラシゴニーユ)

038 (臨・C) 抗HIV療法9

座長 山崎尚也

(広島大学病院輸血部)

松村拓朗

(国立病院機構大阪医療センター感染症内科)

O38-1 Week 48 Asian Analysis Results of a Phase 3 Randomized Controlled Trial of B/F/TAF vs DTG+F/TDF in ART-Naive, HIV/HBV-Coinfected Adults (ALLIANCE)

Anchalee Avihingsanon¹⁾,
Hongzhou Lu²⁾, Chee Loon Leong³⁾,
Chien-Ching Hung⁴⁾,
Sasisopin Kiertiburanakul⁵⁾,
Man-Po Lee⁶⁾,
Khuanchai Supparatpinyo⁷⁾,
Fujie Zhang⁸⁾, Jason Hindman⁹⁾,
Hongyuan Wang⁹⁾, Megan Kim¹⁰⁾,
Tin Hung Wong¹¹⁾, Taisheng Li¹²⁾

- 1) HIV-NAT, Thai Red Cross AIDS Research Centre
- 2) Shanghai Public Health Clinical Center
- 3) Department of Medicine, Kuala Lumpur General Hospital
- 4) National Taiwan University Hospital
- 5) Ramathibodi Hospital
- 6) Queen Elizabeth Hospital
- 7) Chiang Mai University
- 8) Treatment of China AIDS
- 9) GSI
- 10) Gilead Sciences Korea Limited
- 11) Gilead Sciences Hong Kong Limited
- 12) Peking Union Medical College Hospital

O38-2 ビクテグラビル/エムトリシタピン/テノホビルアラフェナミド配合錠処方患者における服薬アドヒアランスが臨床アウトカムに与える影響：レセプトデータ解析

内藤俊夫¹⁾、田口 直²⁾、Yi Piao²⁾、
Annalisa Rubino³⁾、KuanYeh Lee⁴⁾、
Chen Megan⁵⁾、井上幸恵⁶⁾、
増田有里子⁶⁾、原田圭輔²⁾、谷川哲也²⁾

- 1) 順天堂大学医学部総合診療科学講座
- 2) ギリアド・サイエンス株式会社
- 3) Gilead Sciences Europe Ltd.
- 4) Gilead Sciences, Global Medical Affairs
- 5) Gilead Sciences Inc.
- 6) クレコメディカルアセスメント株式会社

O38-3 ビクテグラビル/エムトリシタピン/テノホビルアラフェナミド(B/F/TAF)の日本人 HIV 陽性者(PWH)に対する有効性と安全性：BICSTaR Japan 24 ヶ月解析結果

照屋勝治¹⁾、横暮能行²⁾、渡邊 大³⁾、
遠藤知之⁴⁾、南 留美⁵⁾、田口 直⁶⁾、
Rebecca Harrison⁷⁾、
Andrea Marongiu⁷⁾、白坂琢磨⁸⁾、
岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター
- 3) 国立病院機構大阪医療センター
- 4) 北海道大学病院
- 5) 国立病院機構九州医療センター
- 6) ギリアド・サイエンス株式会社
- 7) Gilead Sciences Europe Ltd.

O38-4 HIV 診療における ePRO の妥当性及び有用性に関して一試作 ePRO の feasibility test 結果—

吉野友祐^{1,2)}、若林義賢²⁾、北沢貴利²⁾

- 1) 帝京大学医学部微生物学講座
- 2) 帝京大学医学部附属病院感染症内科

O38-5 テノホビルジソプロキシル fumarate からテノホビルアラフェナミド fumarate へ変更投与後 288 週の日本人 HIV-1 陽性者の腎機能評価

阿部憲介^{1,2)}、今村淳治³⁾、佐々木晃子³⁾、
鈴木智子³⁾、神尾咲留未⁴⁾、小原 拓⁵⁾、
伊藤俊広³⁾

- 1) 国立病院機構盛岡医療センター薬剤科
- 2) 国立病院機構仙台医療センター臨床研究部
- 3) 国立病院機構仙台医療センターHIV/AIDS包括医療センター
- 4) 国立病院機構渋川医療センター薬剤部
- 5) 東北大学病院薬剤部

O38-6 当院におけるビクテグラビルへのスイッチの体重変化の後方視学的検討

関谷綾子、金子 竣、原田侑子、
宮下竜伊、上久保淑子、一木昭人、
近澤悠志、備後真登、村松 崇、
四本美保子、萩原 剛、天野景裕、
木内 英

東京医科大学臨床検査医学分野

■日時：12月5日(火) 10:00~10:40

■会場：第5会場(2F ル・ボウ)

039 (社・S) 薬害2

座長 川戸美由紀

(国立保健医療科学院)

首藤美奈子

(国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター)

O39-1 薬害 HIV 感染被害患者における長期療養への支援提言(第13報)~患者参加型研究の支援成果を踏まえた今後の支援課題

柿沼章子、久地井寿哉、岩野友里、
武田飛呂城

社会福祉法人はばたき福祉事業団

O39-2 血液製剤による HIV 感染者の調査成績第3報 こころの状態の関連要因の検討

三重野牧子¹⁾、川戸美由紀²⁾、橋本修二²⁾、
天野景裕³⁾、大金美和⁴⁾、岡 慎一⁴⁾、
岡本 学⁵⁾、湯永博之⁴⁾、日笠 聡⁶⁾、
八橋 弘⁷⁾、白飯琢磨⁶⁾

- 1) 自治医科大学
- 2) 藤田医科大学
- 3) 東京医科大学
- 4) 国立国際医療研究センター
- 5) 国立病院機構大阪医療センター
- 6) 兵庫医科大学病院
- 7) 国立病院機構長崎医療センター

O39-3 薬害 HIV 感染血友病患者の今一非薬害血友病患者との意識調査の比較一

小島賢一¹⁾、竹谷英之²⁾、稲垣有佐³⁾、
柿沼章子⁴⁾、小粥美香⁵⁾、後藤美和⁶⁾、
瀧 正志⁷⁾、近澤悠志⁸⁾、長江千愛⁷⁾、
野島正寛⁹⁾、牧野健一郎¹⁰⁾、村上由則¹¹⁾

- 1) 医療法人財団荻窪病院
- 2) 敦賀医療センターリハビリテーション科
- 3) 奈良県立医科大学リハビリテーション医学講座
- 4) はばたき福祉事業団
- 5) 東京大学医学部附属病院看護部
- 6) 東京大学医学部附属病院リハビリテーション部
- 7) 聖マリアンナ医科大学小児科
- 8) 東京医科大学臨床検査医学科
- 9) 東京大学医学部研究所TR治療センター
- 10) 新王子病院リハビリテーション科
- 11) 東北福祉大学教育学部

O39-4 薬害 HIV 感染被害患者における長期療養への支援提言(第15報)~フレイルと関連した主観的 QALY の推定一

久地井寿哉、柿沼章子、岩野友里、
武田飛呂城

社会福祉法人はばたき福祉事業団

O39-5 薬害 HIV 感染者における歯科受診とセルフケアの実態と課題に関する調査

宮本里香^{1,2)}、田沼順子¹⁾、大金美和¹⁾、
池田和子¹⁾、野崎宏枝¹⁾、佐藤愛美²⁾、
鈴木ひとみ¹⁾、杉野祐子¹⁾、谷口 紅¹⁾、
栗田あさみ¹⁾、森下恵理子¹⁾、大杉福子¹⁾、
木村聡太¹⁾、上村 悠¹⁾、中本貴人¹⁾、
近藤順子³⁾、高鍋雄亮³⁾、丸岡 豊³⁾、
湯永博之¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 国立国際医療研究センター病院歯科・口腔外科

■日時：12月5日(火) 10:00~10:48

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

040 (基・B) 複製・感染機構/その他

座長 野間口雅子

(徳島大学大学院医歯薬学研究所微生物病原学分野)

原田恵嘉

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

O40-1 HIV-1 capsid core に結合するコウモリ宿主因子の網羅的プロテオーム解析

大倉定之¹⁾、石野孔祐²⁾、清水真澄¹⁾、
武内寛明³⁾、森田林平¹⁾

- 1) 日本医科大学微生物学・免疫学分野
- 2) 日本医科大学統御機構診断病理学分野
- 3) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科ハイスル感染症研究マネジメント学分野

O40-2 インテグラーゼによる HIV-1 逆転写反応のシスアロステリック制御

小谷 治¹⁾、増田貴夫^{2,3)}、横山 勝¹⁾、
河合剛太²⁾、佐藤裕徳¹⁾

- 1) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター
- 2) 東京医科歯科大学大学院医歯総合研究科
- 3) 千葉工業大学先進工学部生命科学科

O40-3 CXCR4 多量体形成が関連した HIV-1 感染機序の解明

奥村真由、中村朋文、中田浩智、安永純一郎、松岡雅雄

熊本大学大学院生命科学研究所血液・膠原病・感染症内科学

O40-4 HIV-1 エンベロープ糖タンパク質三量体の中和抵抗性株で見られた特徴的構造

横山 勝、小谷 治、佐藤裕徳

国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

O40-5 Env タンパク質に依存しない HIV-1 レトロトランスポゾン機構の解析

門出和精¹⁾、Nyame Perpetual¹⁾、Amesimeku Wright Ofotsu¹⁾、Rajib Samiul Alam²⁾、松田崇秀¹⁾、寺沢広美¹⁾、門出奈美¹⁾、Kubi Joyce Appiah¹⁾、Hossain Md. Jakir¹⁾、佐藤賢文²⁾、澤 智裕¹⁾、前田洋助¹⁾

1) 熊本大学大学院生命科学研究所微生物学講座
2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターゲノミクス・トランスクリプトミクス分野

O40-6 Triosephosphate isomerase 1 は好氣的解糖下で HIV-1 複製を増強する

阿部人和¹⁾、岸本直樹¹⁾、三浦知志¹⁾、安武多恵¹⁾、高宗暢暁²⁾、三隅将吾¹⁾

1) 熊本大学大学院薬学教育部
2) 熊本大学熊本副産物推進機構

■日時：12月5日(火) 10:00~10:48

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

O41 (臨・C) 症例報告(日見感染症)

座長 塚田訓久

(国立病院機構東埼玉病院臨床研究部)

清水恒広

(京都市立病院感染症科)

O41-1 AIDS、びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫、肺結核の治療中に発症し診断に苦慮した頭蓋内結核腫による免疫再構築症候群の一例

福地貞彦¹⁾、瀬戸那由太¹⁾、畠山修司^{1,2)}

1) 自治医科大学附属さいたま医療センター総合診療科
2) 自治医科大学附属病院総合診療内科

O41-2 長時間作用型カボテグラビル・リルピリン療法に切り替え後に発症した HBs 抗体陽性例の急性 B 型肝炎と急性 E 型肝炎の混合感染の 1 例

中村 造、長 盛親、小林勇仁

東京医科大学病院感染制御部・感染症科

O41-3 脾臓摘出術によりコントロールを得ることが出来たと考えられる播種性非結核性抗酸菌感染症を伴った後天性免疫不全症候群の一例

内藤 宏、山中篤志

宮崎県立宮崎病院

O41-4 ニューモシスチス肺炎で AIDS を発症した seronegative HIV infection 症例における抗体反応の推移

瀬戸那由太^{1,2)}、福地貞彦¹⁾、河上麻美代³⁾、長島真美³⁾、貞升健志³⁾、畠山修司^{2,4)}

1) 自治医科大学附属さいたま医療センター総合診療科
2) 自治医科大学附属病院感染症科
3) 東京都健康安全研究センター微生物部
4) 自治医科大学総合診療部門

O41-5 AIDS 合併ニューモシスチス肺炎に難治性気胸を併発し、ART 導入で気胸の治癒が得られた 1 例

KWAN EE OH¹⁾、小川孔幸¹⁾、松本 彬¹⁾、武藤壮平²⁾、若松郁生²⁾、久野花凜²⁾、柳澤邦雄³⁾、反町百花¹⁾、今村健二¹⁾、齋藤 慧¹⁾、小林宣彦¹⁾、宮澤悠里¹⁾、半田 寛¹⁾

1) 群馬大学医学部付属病院血液内科
2) 群馬大学医学部付属病院呼吸器内科
3) 群馬大学医学部付属病院感染制御部

O41-6 抗 HIV 薬服用中の血友病患者における口腔機能と口腔環境の評価

岡田美穂¹⁾、新谷智章²⁾、川越麻衣子¹⁾、岩田倫幸³⁾、山崎尚也⁴⁾、藤井輝久^{4,5)}、柴 秀樹⁶⁾

1) 広島大学病院診療支援部歯科部門
2) 広島大学病院口腔検査センター
3) 広島大学大学院医系科学研究科歯周病態学研究室
4) 広島大学病院輸血部
5) 広島大学病院エイズ医療対策室
6) 広島大学大学院医系科学研究科歯髄生物学研究室

■日時：12月5日(火) 11:00～11:48

■会場：第5会場(2F ル・ボウ)

042 (社・S) ソーシャルワーク

座長 重信英子

(広島大学病院輸血部・エイズ医療対策室)

岡本 学

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター医療福祉相談室)

042-1 エイズ診療ブロック拠点病院等ソーシャルワーカー情報交換会の開催意義と役割

重信英子¹⁾、首藤美奈子²⁾、岡本 学³⁾、高橋昌也⁴⁾、三嶋一輝⁵⁾、山口みなみ⁶⁾、北村末季⁹⁾、佐藤華絵⁹⁾、青野加奈子⁹⁾、鳥越彩英子⁸⁾、川端まみ⁸⁾、窪田和世⁸⁾、横尾ゆかり⁸⁾、豊永ひかり¹⁰⁾、中嶋幸徳¹⁾、築山芽生¹¹⁾、中津千恵子¹²⁾、堤 千尋¹²⁾、大里文誉²⁾、田邊瑛美²⁾、仲倉高広¹³⁾

- 1) 広島大学病院
- 2) 国立病院機構九州医療センター
- 3) 国立病院機構大阪医療センター
- 4) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 5) 福井大学医学部附属病院
- 6) 北海道大学病院
- 7) 国立病院機構仙台医療センター
- 8) 石川県立中央病院
- 9) 新潟大学歯学部総合病院
- 10) 国立病院機構名古屋医療センター
- 11) 県立広島病院
- 12) 広島市立広島市民病院
- 13) 京都ノートルダム女子大学

042-2 HIV 陽性者の受け入れ経験を有する事業所のネットワークを作る取り組み「福岡県 HIV サポーター連携カンファレンス」実践報告

田邊瑛美^{1,2)}、南 留美²⁾、首藤美奈子²⁾、大里文誉²⁾、新野 歩³⁾

- 1) 福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課
- 2) 国立病院機構九州医療センター
- 3) ホームホスピスほのぼの・訪問看護ステーションラポールほのぼの

042-3 HIV 感染症患者の療養支援に関する Ns と MSW の協働について～第 2 回 Ns と MSW の協働シンポジウムのアンケート結果から～

三嶋一輝¹⁾、池田和子²⁾、四戸 良³⁾、木下佑子¹⁾、羽柴知恵子⁴⁾、葛田衣重⁵⁾、横幕能行⁴⁾

- 1) 福井大学医学部附属病院
- 2) 国立国際医療研究センター病院
- 3) 旭川医科大学病院
- 4) 名古屋医療センター
- 5) 千葉大学医学部附属病院

042-4 当事者スタッフと専門職者が連携した相談活動の実践と効果

澤田華世¹⁾、町登志雄²⁾、陰山朋久²⁾、宮階真紀²⁾、森田眞子³⁾、山中京子⁴⁾、古谷野淳子⁵⁾、塩野徳史⁶⁾

- 1) 名古屋市立大学大学院看護学研究科
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団/MASH+大阪
- 3) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室
- 4) コラボレーション実践研究所
- 5) 新潟県労働局
- 6) 大阪青山大学健康科学部看護学科

042-5 引きこもりなど多くの課題を抱え、地域で孤立していた葉書エイズ患者へ MSW が介入し、支援体制を構築した 1 例

木梨貴博、齊藤誠司、坂田達朗、片山智之、津田由美、中村 葵、飯塚隼子、藤原千尋、野村直幸、河野泰宏、安岡悠典、宮内浩希

独立行政法人国立病院機構福山医療センター

042-6 終末期医療に移行した HIV 陽性者へのソーシャルワーク実践—家族へ病名未告知だった際の療養支援—

大里文誉、首藤美奈子、南 留美

国立病院機構独立行政法人九州医療センターAIDS/HIV 総合治療センター

■日時：12月5日(火) 11:00~11:48

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

O43 (臨・C) 性感染症

座長 青木孝弘

(国立国際医療研究センター)

井戸田一朗

(しらかば診療所)

O43-1 MSM-PLWHにおけるA型肝炎ワクチン(エムゲン)接種の3年後HA抗体価についての検討

古賀道子¹⁾、久保田めぐみ¹⁾、
干光寺智恵¹⁾、安達英輔²⁾、池内和彦²⁾、
菊地 正²⁾、大谷天人²⁾、齋藤 真¹⁾、
堤 武也²⁾、四柳 宏

1) 東京大学医科学研究所感染症分野

2) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

O43-2 当院のHIV患者における梅毒の罹患状況と薬剤師の関わり

河野泰宏^{1,2)}、野村直幸^{1,2)}、野田綾香^{1,2)}、
安岡悠典^{1,2)}、高田 遼¹⁾、中村 葵²⁾、
藤原千尋²⁾、飯塚暁子²⁾、木梨貴博²⁾、
片山智之²⁾、門田悦子²⁾、宮内浩希²⁾、
高橋洋子¹⁾、田村浩二¹⁾、齋藤誠司^{2,3)}、
坂田達朗^{2,4)}

1) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター薬剤部

2) 独立行政法人国立病院機構福山医療センターエイズ治療センター

3) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター感染症内科

4) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター肝臓内科

O43-3 エムボックス罹患時の一過性のT細胞の減少と回復時の異型リンパ球の増加

安達英輔、大谷天人、齋藤 真、
古賀道子、四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

O43-4 当院におけるHIV合併Mpox症例の臨床的検討

一木昭人、金子 竣、原田侑子、
宮下竜伊、上久保淑子、山口知子、
近澤悠志、備後真登、関谷綾子、
村松 崇、四本美保子、萩原 剛、
天野景裕、木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科

O43-5 当院HIV感染者におけるエムボックスの臨床的特徴

中本貴人、阿部静太郎、小泉吉輝、
安藤尚克、上村 悠、水島大輔、
青木孝弘、矢崎博久、渡辺恒二、
照屋勝治、瀧永博之

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

O43-6 未治療のHIV患者に感染したmPOXの一例

津田歩美¹⁾、佐藤翔太¹⁾、西村拓人¹⁾、
大和田裕介¹⁾、齋藤成美²⁾、早川雄次³⁾、
柳 秀高¹⁾、小澤秀樹¹⁾

1) 東海大学医学部付属病院総合内科

2) 東海大学医学部付属病院皮膚科

3) 有隣厚生会富士病院皮膚科

■日時：12月5日(火) 11:00~11:48

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

O44 (臨・C) 抗HIV療法10

座長 水島大輔

(国立国際医療研究センター)

榎田宏幸

(国立病院機構大阪医療センター薬剤部)

O44-1 ドラビリンの長期使用に伴う影響調査

山口泰弘^{1,3)}、合原嘉寿^{1,3)}、藤田清香^{1,3)}、
松永真実^{1,3)}、藤瀬陽子^{1,3)}、大橋邦央^{1,3)}、
橋本雅司^{1,3)}、中嶋恵理子^{2,3,4)}、
高濱宗一郎^{2,3,4)}、南 留美^{2,3,4)}

1) 国立病院機構九州医療センター薬剤部

2) 国立病院機構九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター

3) 国立病院機構九州医療センター臨床研究センター

4) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科

O44-2 12-month (12M) effectiveness and safety of bicitegravir/emtricitabine/tenofovir alafenamide (B/F/TAF) in people with HIV (PWH) from real-world cohorts in Asia

横幕能行¹⁾、照屋勝治²⁾、Chia-Jui Yang³⁾、Chen Seong Wong^{4,5)}、Sun Hee Lee^{6,7)}、Yeon-Sook Kim⁸⁾、Kuan-Yeh Lee⁹⁾、Jack Chang⁹⁾、Andrea Marongiu⁹⁾、Chien-Ching Hung¹⁰⁾

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター
- 2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 3) Department of Internal Medicine, Far Eastern Memorial Hospital, Taiwan
- 4) Department of Infectious Diseases, National Centre for Infectious Diseases, Singapore
- 5) Department of Infectious Diseases, Tan Tock Seng Hospital, Singapore
- 6) Department of Internal Medicine, Pusan National University School of Medicine, South Korea
- 7) Medical Research Institute, Pusan National University Hospital, South Korea
- 8) Department of Internal Medicine, Chungnam National University Hospital, South Korea
- 9) Gilead Sciences
- 10) Department of Internal Medicine, National Taiwan University Hospital Yulin Branch, Taiwan

O44-3 ウイルス学的抑制が得られている症例に対する Doravirine + Dolutegravir または Raltegravir 併用療法の有効性等に関する検討

平野 淳¹⁾、松岡梨恵¹⁾、松木克仁¹⁾、山梨領太¹⁾、柴原夏帆¹⁾、羽柴知恵子²⁾、今橋真弓^{3,4)}、岩谷靖雅⁴⁾、吉田知由¹⁾、横幕能行²⁾

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤部
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター看護部
- 3) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- 4) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部

O44-4 第2世代インテグラーゼ阻害剤使用前後の血清クレアチニンと血清シスタチンCの評価

村松 崇、金子 竣、原田侑子、宮下竜伊、上久保淑子、一木昭人、近澤悠志、備後真登、関谷綾子、四本美保子、萩原 剛、天野景裕、木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科

O44-5 HIV 陽性者における 15 年間での変化

古西 満^{1,2)}、宇野健司^{2,3)}、治田匡平⁴⁾、松尾理世⁴⁾、福盛達也²⁾、笠原 敬²⁾

- 1) 奈良県立医科大学健康管理センター
- 2) 奈良県立医科大学感染症センター
- 3) 南奈良総合医療センター感染症内科
- 4) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部

O44-6 抗 HIV 薬変更に伴う赤血球数の変化について

南 留美¹⁾、高濱宗一郎¹⁾、中嶋恵理子¹⁾、城崎真弓¹⁾、長與由紀子¹⁾、犬丸真司¹⁾、山地由恵¹⁾、合原嘉寿¹⁾、小松真梨子¹⁾、矢田亮子¹⁾、山本政弘²⁾

- 1) 国立病院機構九州医療センター
- 2) 医療法人西福岡病院